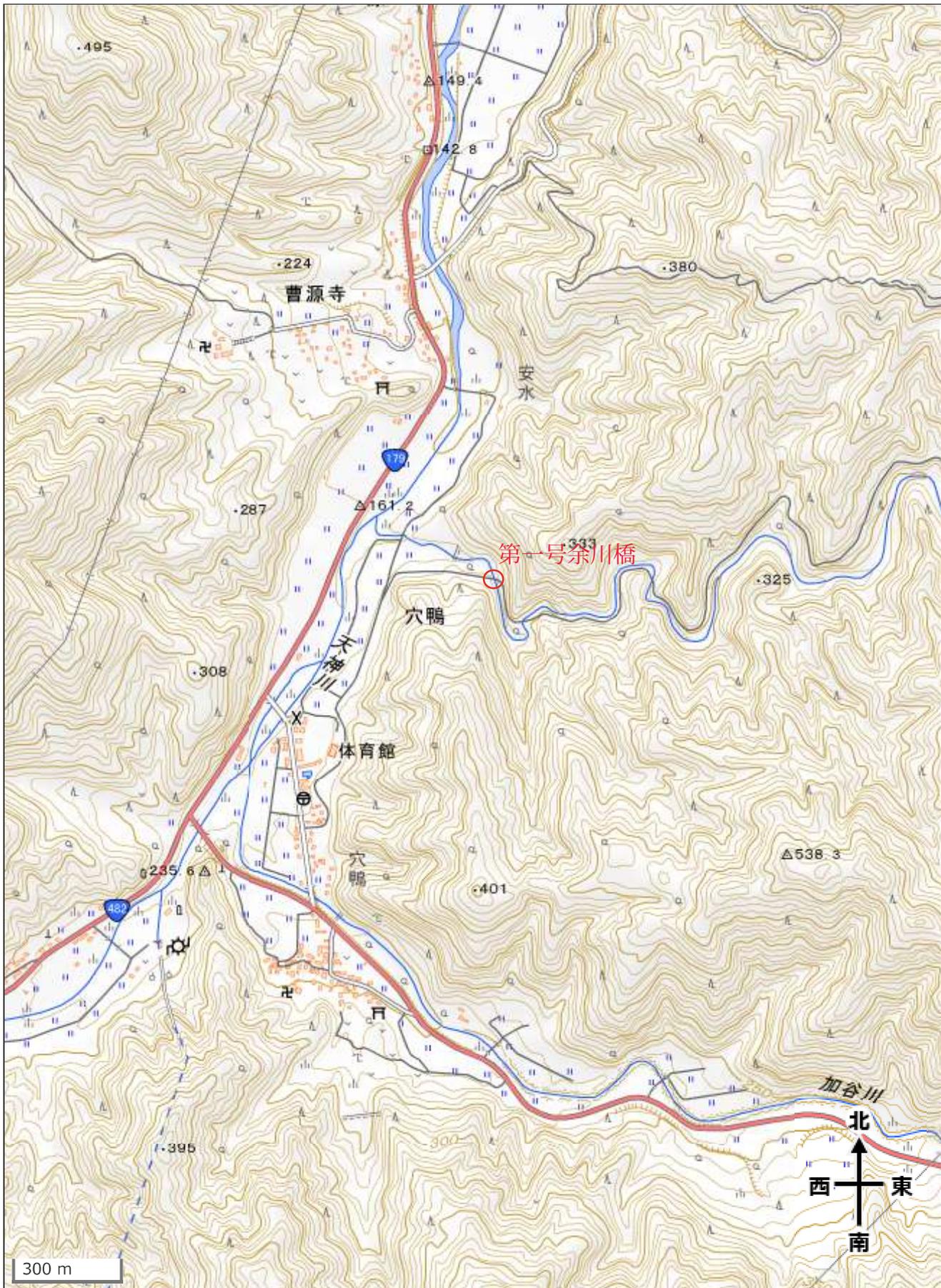


第1号余川橋橋梁補修工事概要

- 1 事業名 森林環境保全整備事業（老朽化対策）
- 2 事業地区 東伯郡三朝町大字穴鴨
- 3 事業内容 第1号余川橋 橋長 L=25.7m 幅員 W=4.0m
 - 塗膜除去工 A=129m²
 - 部分塗装塗替え工（Rc-Ⅱ塗装系） A=129m²
 - 支承防錆工（Rc-Ⅱ塗装系） A=0.4m²
 - 嵩上げコンクリート N=4箇所
 - 伸縮装置止水工 L=8m
 - 地覆部止水工 N=1式
 - 支柱基部防錆工 N=28箇所
 - 仮設工 N=1式
- 4 工期 令和8年2月27日



現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	<p>① (他工事等との調整) _____ については、_____ と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>② (部分完成、着工保留) _____ については、_____ まで _____ [すること、しないこと]。</p> <p>③ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:00~17:00)を見込んでいる。 _____ の施工時間は、_____ : _____ ~ _____ : _____ とする。</p> <p>④ (余裕期間設定工事) _____ 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領(平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知)の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) _____ この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事) _____ 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】 本工事は、鳥取県土整備部週休2日工事実施要領(平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知)の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。</p>
用地 関係	<p>① (用地、物件等未処理) _____ 本工事区間の _____ には _____ があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____ 頃 _____ の予定である。</p>
支障 物件	<p>① (埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) について調査済み] である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件) _____ _____ の施工に当って、_____ が支障となっているが、_____ までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所) _____ 工事用地内の立木は伐採し、_____ に置くこと。</p>
公害 対策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械) _____ 本工事のうち施工箇所： _____ については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種： _____、施工機械： _____</p>

① (交通安全施設等)

~~一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。~~

交通誘導員A 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日

 ~~工事全体合計 人・日~~

交通誘導員B 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日

 ~~工事全体合計 人・日~~

警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。

交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。

また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。

なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。

安全対策

① (濁水処理)

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。

また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf>)に基づいて適正に処理すること。

濁水処理

【建設発生土(処理)】

① (他工事等流用)

建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。

② (建設技術センター)

建設発生土は 市・町・村 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例) 砂質土、コン指数300kN/m²以上)

② (民間残土受入地)

建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円を に支払うこと。

民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例) 砂質土、コン指数300kN/m²以上)

④ (土質改良プラント)

建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円を に支払うこと。

土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例) 砂質土、コン指数300kN/m²以上)

建設発生土は現地処分とする。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】

① (分別解体等)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊 1m³当たり 円

アスファルト塊 1m³当たり 円

建設発生木材 1m³当たり 円

② (他工事等流用)

[Co雑割材・]は、 市・町・村 地内 工事で使用するものとする。

建設副産物の処理

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1t当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

- (施設の名称・~~コンクリート塊~~_____市・町・村_____地内の_____
受入れ費用) _____(運搬距離_____km)、費用 1t当り_____円
- ~~アスファルト塊~~_____市・町・村_____地内の_____
_____ (運搬距離_____km)、費用 1t当り_____円
- ~~建設発生木材~~_____市・町・村_____地内の_____
_____ (運搬距離_____km)、費用 1t当り_____円
- ~~その他()~~_____市・町・村_____地内の_____
_____ (運搬距離_____km)、費用 1t当り_____円

(受入れ時間帯) ~~8時～17時(平日)~~

- (受入れ条件) ~~ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。~~
- ~~イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。~~
- ~~ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。~~
- ~~エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。~~

⑥ (最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1t当り_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工種	項目	規格	摘要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を2点以上設ける  平均的な断面
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

建設副産物の使用	<p>① (建設発生主の使用) _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生主を受入れ、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について) 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>② (農地の賃貸借) ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
その他	<p>① (自社施工) 本工事においては、(※) _____ 工 (_____ 工を除く)のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。</p> <p>② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、 _____ 第1号余川橋橋梁補修工事 _____ とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p>

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔であるではない〕。
~~イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。~~

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔するしない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
~~ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合には、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事~~
~~イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）~~
~~ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事~~
~~エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）~~
~~オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）~~

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
 重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、~~（対象工事の区分を記載）~~ 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
 ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、~~止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。~~
~~情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。~~
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他

⑪ (建設機械の賃料の採用単価)

~~ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り()〕
イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
本工事の 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格 t 吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用し、本工事の 工で使用を想定している高所作業車(規格)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用している。~~

⑫ (現場環境改善)

【災害復旧工事以外】

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔するしない〕。
下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。
1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

⑬ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

~~⑭ (現場管理費補正)~~

~~【治山工事、林道工事以外】~~

~~本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮ (日本芝生産地への配慮)~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア [張芝工・筋芝工]は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工]に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工]に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当たり〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

~~⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

~~⑱ (標示板の設置)~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長事務連絡)を参考にすること。~~

~~⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型]) 【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳ (遠隔臨場)~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑ (施工管理システム)~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの活用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

その他

~~② (快適トイレの試行)~~

~~1. 内容~~

~~受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

- ~~(1) 洋式便器~~
- ~~(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)~~
- ~~(3) 臭い逆流防止機能~~
- ~~(4) 容易に開かない施錠機能~~
- ~~(5) 照明設備~~
- ~~(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)~~

~~【付属品として備えるもの】~~

- ~~(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~
- ~~(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~
- ~~(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)~~
- ~~(10) 鏡と手洗器~~
- ~~(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

- ~~(12) 室内寸法900×900mm以上(面積ではない)~~
- ~~(13) 擬音装置(機能を含む)~~
- ~~(14) 着替え台~~
- ~~(15) 臭気対策機能の多重化~~
- ~~(16) 室内温度の調整が可能な設備~~
- ~~(17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~3. その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他

工事設計書

施工年度	令和 07 年度
事業区分	森林環境保全整備事業（老朽化対策）
路線名等 河川名等	林道余川線
工事名	第1号余川橋橋梁補修工事
施工位置	東伯郡三朝町穴鴨
設計金額	
工事概要	第1号余川橋 橋長L=25.7m 幅員W=4.0m 塗膜除去工 A=129m ² 部分塗装塗替え工（Rc- 塗装系） A=129m ² 支承防錆工（Rc- 塗装系） A=0.4m ² 嵩上げコンクリート N=4箇所 伸縮装置止水工 L=8m 地覆部止水工 N=1式 支柱基部防錆工 N=28箇所 仮設工 N=1式

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	78 三朝町 設計書 当初 07-*****-00001-10 0 1 実施単価 23 三朝町 00-07.07.10(0) 2 林道	
	当 世 代	前 世 代
前払率(%) 工種区分 施工地域・施工場所 契約保証区分 緊急工費補正区分 現場環境改善費区分 週休二日補正係数	40 23 鋼橋架設工事 13 一般交通影響有り(2)-1-2 01 金銭保証 (0.04%) 00 通常工事 0% 00 率分計上なし 12 月単位の週休2日	

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
橋梁保全工									Y2201	(レ ^ハ ル1)
現場塗装工				式					Y2999	(レ ^ハ ル2)
塗膜剥離工				式					Y3999	(レ ^ハ ル3)
塗膜除去工 廃材回収積込含む				式					V1001	00
見積	129		m ²						施工 第0 -0001号表	070710
塗膜剥離剤 STRIPPER 中性型水系剥離剤 ECO 同等品 標準塗布量：1.0kg/m ² 、収率：7% 建設物価196頁（全国）	138		kg						F2004	00
有害物質含有廃塗膜処分 鉛含有									F2006	00
見積	190		k g							070710
【材】50Lペール缶									F2005	00
見積	5		缶							070710
【工】剥離剤および塗料かす運搬工									F2003	00
見積	1		車							070710

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
部分塗装塗替工									Y3999	(レ ^ハ ル3)
				式						
部分塗装塗替え Rc- 塗装系、2種外、赤系									V1002	00
	129			m ²					施工 第0 -0002号表	070710
支承防錆工									Y3999	(レ ^ハ ル3)
				式						
部分塗装塗替え Rc- 塗装系、2種外、赤系									V1002	00
	0.4			m ²					施工 第0 -0002号表	070710
橋梁付属物工									Y2999	(レ ^ハ ル2)
				式						
地覆嵩上げ工									Y3999	(レ ^ハ ル3)
				式						
嵩上げコンクリート									V3001	00
	1			箇所					施工 第0 -0008号表	070710
嵩上げコンクリート									V3002	00
	1			箇所					施工 第0 -0012号表	070710
嵩上げコンクリート									V3003	00
	1			箇所					施工 第0 -0014号表	070710

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
嵩上げコンクリート					V3004 00
	1	箇所			施工 第0 -0015号表 070710
伸縮装置止水工					Y3999 (レハル3)
		式			
【材工】伸縮装置止水工 滑り止め合成ゴムシート 高耐久シーリング材W=150mm					V2001 00
見積	8	m			施工 第0 -0016号表 070710
地覆部止水工 弾性シーリング材 W35×15					V4001 00
土地改良工事積算基準 383頁	0.8	m			施工 第0 -0019号表 070710
地覆部止水工 弾性シーリング材 W30×15					V4002 00
土地改良工事積算基準 383頁	1.2	m			施工 第0 -0020号表 070710
地覆部止水工 弾性シーリング材 W10×10					V4003 00
土地改良工事積算基準 383頁	0.4	m			施工 第0 -0021号表 070710
地覆部止水工 弾性シーリング材 W60×20					V4004 00
土地改良工事積算基準 383頁	0.8	m			施工 第0 -0022号表 070710
支柱基部防錆工					Y3999 (レハル3)
		式			
【材工】支柱基部防錆工 ガードレール 114.3×h100					V5001 00
見積	28	箇所			施工 第0 -0023号表 070710

工事内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工									Y2999	(レベル2)
				式						
足場工									Y3999	(レベル3)
				式						
吊足場 タイプA1 桁高h<1.5									VB0001	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	119		m ²						施工 第0 -0024号表	070710
床面シート張防護工 (タイプA1~A3対応)									VB0002	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	119		m ²						施工 第0 -0025号表	070710
朝顔 (タイプB)									VB0003	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	119		m ²						施工 第0 -0026号表	070710
シート張防護工 タイプBに加算・対応									VB0004	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	119		m ²						施工 第0 -0027号表	070710
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工 中段足場養生無し (養生シート設置・撤去 1回1m ² 当り)									VB0005	00
R7橋梁架設工事の積算4-160頁	119		m ²						施工 第0 -0028号表	070710
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工 中段足場養生無し (養生シート設置・撤去 1回1m ² 当り)									VB0005	00
R7橋梁架設工事の積算4-160頁	119		m ²						施工 第0 -0028号表	070710
足場(吊りチェーン)盛り替え工									VB0006	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	119		m ²						施工 第0 -0029号表	070710

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
環境対策資機材費									Y3999	(レベル3)
				式						
簡易型セキュリティルーム シート・フレームセット W1500×L4500×H2000 相当品 見積	1			式					F3008	00
										070710
エアシャワーユニット VAS-0004C相当品 見積	1			式					F3009	00
										070710
直接工事費										
技術管理費									Z0006	
				式						
塗膜剥離試験費 水系塗膜剥離剤 仕様決定剥離剤決定根拠、3種類比較 見積	1			回					V9001	00
										施工 第0 -0030号表
安全費									Z0008	
				式						
安全衛生防護費									V8001	00
	1			式						施工 第0 -0031号表
共通仮設費										070710
				式						

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費等			式			
工事価格						
工事価格計						
消費税等相当額計			式			
工事費計						

施工単価表

塗膜除去工
 廃材回収積込含む

V1001

施工 第0 -0001号表

10 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 鉸桁構造、時間的制約なし	10	m ²			F2001 土木コスト情報2025.7 503頁
廃材の回収・積込 時間的制約なし	10	m ²			F2002 土木コスト情報2025.7 504頁
雑品	1	式			#91
合計	10	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0 -0002号表

V1002

10 m² 当り

部分塗装塗替え
Rc- 塗装系、2種外、赤系

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 素地調整	10	m ²			SDT00029 施工 第0-0003号表
塗替塗装 下塗り塗装	10	m ²			SDT00029 施工 第0-0004号表
塗替塗装 下塗り塗装	10	m ²			SDT00029 施工 第0-0005号表
塗替塗装 中塗り塗装	10	m ²			SDT00029 施工 第0-0006号表
塗替塗装 上塗り塗装	10	m ²			SDT00029 施工 第0-0007号表
雑品	1	式			#91
合計	10	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.01	m3			SPK24040153 施工 第0-0009号表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK24040155 施工 第0-0010号表
【材】差筋アンカー D10 L=100mm アンカー拡張式	4	本			F1001 見積
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4	孔			SPK24040118 施工 第0-0011号表
雑品	1	式			#91
単位当り	1	箇所			

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

施工 第0 -0009号表

小型構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 42.01%

材料構成比: 57.99% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

SPK24040155

施工 第0 -0010号表

型枠

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

施工 第0 -0011号表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.30% 労務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 出力2kVA	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン レギュラー スタンド	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

施工 第0 -0011号表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.30%

労務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔深さ30mm以上200mm未満					

施工単価表

嵩上げコンクリート

V3002

施工 第0 -0012号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.01	m3			SPK24040153 施工 第0-0009号表
モルタル練 高炉	0.001	m3			SPK24040154 施工 第0-0013号表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK24040155 施工 第0-0010号表
【材】差筋アンカー D10 L=100mm アンカ-拡張式	4	本			F1001 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	0.38	L			F5002 建設物価7月P.346
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4	孔			SPK24040118 施工 第0-0011号表
雑品	1	式			#91
単位当り	1	箇所			

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK24040154

施工 第0 -0013号表

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.30% 材料構成比: 16.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(高炉B) 25kg袋入	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
砂細目(洗い) コンクリート用	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.01	m3			SPK24040153 施工 第0-0009号表
モルタル練 高炉	0.001	m3			SPK24040154 施工 第0-0013号表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK24040155 施工 第0-0010号表
【材】差筋アンカー D10 L=100mm アンカ-拡張式	4	本			F1001 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	0.53	L			F5002 建設物価7月P.346
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4	孔			SPK24040118 施工 第0-0011号表
雑品	1	式			#91
単位当り	1	箇所			

施工単価表

嵩上げコンクリート

V3004

施工 第0 -0015号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.01	m3			SPK24040153 施工 第0-0009号表
モルタル練 高炉	0.001	m3			SPK24040154 施工 第0-0013号表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK24040155 施工 第0-0010号表
【材】差筋アンカー D10 L=100mm アンカ-拡張式	4	本			F1001 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	0.38	L			F5002 建設物価7月P.346
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4	孔			SPK24040118 施工 第0-0011号表
雑品	1	式			#91
単位当り	1	箇所			

施工単価表

V2001

施工 第0 -0016号表

【材工】伸縮装置止水工

滑り止め合成ゴムシート 高耐久シリコン材W=150mm

8 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮装置止水工 高弾性ウレタン樹脂 サンド-ケソ下地処理	8	m			V2002 施工 第0-0017号表 見積
ゴムシート設置 貼付式路面補修シート	8	m			V2003 施工 第0-0018号表 見積
諸雑費	1	式			#91
合計	8	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

伸縮装置止水工
高弾性ウレタン樹脂 サンドーケルソ下地処理

V2002

施工 第0 -0017号表

8 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2	人			RTPC00001 9
普通作業員	2	人			RTPC00002 9
高弾性ウレタン樹脂シーリング材 オジソールソフト 比重1.4 18kg/セツト	1	セツト			F4001 見積
KFシールテクトテープ 200 付着防止 t=1mm W200mm*10m	1	巻			F4002 見積
金属プライマー NT金属用プライマー 0.15kg/m2 3.3kg/セツト	1	セツト			F4003 見積
雑材料	15	%			#09 (労務費×15%)
合計	8	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

施工 第0 -0018号表

V2003

ゴムシート設置
貼付式路面補修シート

8 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.5	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.5	人			RTPC00002 9
貼付式路面補修シート スリマ-クL715 W610mm*5m	1	巻			F4004 見積
雑材料	10	%			#09 (労務費×10%)
合計	8	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

地覆部止水工
弾性シール材 W35×15

V4001

施工 第0 -0019号表

土地改良工事積算基準 383頁

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.8	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.2	人			RTPC00002 9
シール材 シリコーン系、プライマー含む	63	L			F5001 建設物価7月P.346
雑材料	11	%			#09 (労務費×11%)
合計	100	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

地覆部止水工
弾性シール材 W30×15

V4002

施工 第0 -0020号表

土地改良工事積算基準 383頁

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.8	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.2	人			RTPC00002 9
シール材 シリコーン系、プライマー含む	54	L			F5001 建設物価7月P.346
雑材料	11	%			#09 (労務費×11%)
合計	100	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

地覆部止水工
弾性シール材 W10×10

V4003

施工 第0 -0021号表

土地改良工事積算基準 383頁

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.8	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.2	人			RTPC00002 9
シール材 シリコーン系、プライマー含む	12	L			F5001 建設物価7月P.346
雑材料	11	%			#09 (労務費×11%)
合計	100	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

地覆部止水工
弾性シール材 W60×20

V4004

施工 第0 -0022号表

土地改良工事積算基準 383頁

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.8	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.2	人			RTPC00002 9
シール材 シリコーン系、プライマー含む	144	L			F5001 建設物価7月P.346
雑材料	11	%			#09 (労務費×11%)
合計	100	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

【材工】支柱基部防錆工
ガードレール 114.3×h100

V5001

施工 第0 -0023号表

10

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗装工	0.8	人			RTPC00013 9
水性錆転換塗料 批キラプロ 0.16kg/m2×2回 耐久率10% 1kg/缶	0.13	kg			F4005 見積
雑材料	20	%			#09 (労務費×20%)
合計	10	箇所			
単位当り	1	箇所			

足場(吊りチェーン)盛り替え工

VB0006

施工単価表

施工 第0 -0029号表

頁0-0038

R7橋梁架設工事の積算4-12頁

200

m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1	人			RTPC00021 9
橋りょう特殊工	3	人			RTPC00020 9
普通作業員	1	人			RTPC00002 9
雑材料	20	%			#09
合計	200	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

塗膜剥離試験費
水系塗膜剥離剤

V9001
仕様決定剥離剤決定根拠、3種類比較
見積

施工 第0 -0030号表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.75	人			RTPC00009 9
橋梁塗装工	3.5	人			R0230 9
雑材料	10	%			#09
単位当り	1	回			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電動ファン付き呼吸用保護具 Sy11V3相当	3	個			F3001 見積
呼吸用保護具用フィルター 呼吸用保護具 交換品	72	個			F3002 見積
使い捨て化学防護服 JIS T 8155-1998適合品	72	着			F3003 見積
化学防護手袋 JIS T 8116適合品	3	組			F3004 見積
化学防護長靴 JIS T 8117適合品	3	足			F3005 見積
シューズカバー	72	足			F3006 見積
防護メガネ M10C-F/VF(ハンフ無し) JIS T 8147	3	個			F3007 見積
雑品	1	式			#91
単位当り	1	式			

数量計算書

(第一号余川橋)

数 量 総 括 表

工 事 名		第一号余川橋橋梁補修工事					事業区分	工事区分
レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格等	単位	数量	摘要	
橋梁保全	現場塗装工							
		塗膜剥離工	塗膜除去工	廃材回収積込含む	m2	129		
			塗膜剥離剤	STRIPPER (想定) 水系 (中性) 塗膜剥離剤 2回塗り	kg	138		
			塗膜処分	鉛含有廃棄物 廃プラスチック類	kg	190		
			ペール缶	50L	(kg) 缶	(209) 5	190*1.1 (比重)	
			塗膜運搬	鉛含有廃棄物 廃プラスチック類	車	1		
		部分塗装塗替工	Rc-II 塗装系	2種ケレン、赤系	m2	129		
		支承防錆工	塗装塗替工 Rc-II 塗装系	2種ケレン、赤系	m2	0.4	4基	
		安全衛生保護具	電動ファン付 呼吸用保護具	Sy185V3-H 相当品	セット	3	※安全費に計上	
			フィルタ	呼吸用保護具 交換品	個	72		
			化学防護服	JIS T 8115適合品	着	72		
			化学防護手袋	JIS T 8116適合品	組	3		
			化学防護長靴	JIS T 8117適合品	足	3		
			シューズカバー	ポリエチレン	足	72		
			防護メガネ	JIS T 8147適合品	個	3		
		環境対策設備	簡易型 セキュリティールーム	W1500×L4500×H2150 シート厚: 0.11mm (壁・天井) 0.35mm (床)	式	1	※仮設工に計上	
			エアシャワーユニット	レンタル YK3分割エアシャワー (MT)	式	1		
	橋梁付属物工	嵩上げ コンクリート①	A1上流側	コンクリート σck=18N/mm2	箇所	1		
		嵩上げ コンクリート②	A1下流側	コンクリート σck=18N/mm2	箇所	1		
		嵩上げ コンクリート③	A2上流側	コンクリート σck=18N/mm2	箇所	1		
		嵩上げ コンクリート④	A2下流側	コンクリート σck=18N/mm2	箇所	1		
		伸縮装置止水工①	A1側	滑り止め合成ゴムシート 高耐久シーリング材 W=150mm	m	4	} 合計L=8m	
		伸縮装置止水工②	A2側	滑り止め合成ゴムシート 高耐久シーリング材 W=150mm	m	4		
		地覆部止水工①	A1上流側 地覆部	弾性シール材 W35×15	m	0.6	} 合計L=0.8m	
			A1上流側 地覆以下	弾性シール材 W35×15	m	0.2		
		地覆部止水工②	A1下流側 地覆部	弾性シール材 W30×H15	m	0.6	} 合計L=1.2m	
			A1下流側 地覆以下	弾性シール材 W10×H10	m	0.2		
		地覆部止水工③	A2上流側 地覆部	弾性シール材 W30×H15	m	0.6	} 合計L=0.4m	
			A2上流側 地覆以下	弾性シール材 W10×H10	m	0.2		
		地覆部止水工④	A2下流側 地覆部	弾性シール材 W60×H20	m	0.6	} 合計L=0.8m	
			A2下流側 地覆以下	弾性シール材 W60×H20	m	0.2		
		支柱基部防錆工	塗布型防錆剤	水性錆転換塗料	箇所 (m2)	28 (1)		
	仮設工	足場工	吊足場	シート防護、朝顔、床面シート	m2	119		

◆よくあるお問い合わせ

◎塗膜除去工（塗膜剥離剤）

Q. 以下の場合には標準単価を適用できますか？
Q1. コンクリート橋・コンクリートシェッドの場合 A1. 適用できません。
Q2. 水門、鉄塔、タンク等の場合 A2. 適用できません。
Q3. 高所作業車での塗布・除去作業の場合 A3. 適用できません。
Q. 以下の費用は標準単価に含まれますか？（塗膜剥離剤の材料費、養生シート、安全対策に要する費用、廃材の運搬費、処分費、密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用）
Q1. 塗膜剥離剤の材料費 A1. 含まれません。材料費については、『建設物価』『Web 建設物価』を参照してください。
Q2. 塗膜除去工での防護工、安全対策に要する費用 A2. 塗膜除去工での防護工（養生設備・シート（板張り防護やシート張り防護等））、安全対策に要する費用（保護衣、作業服等）は含まれません。特別管理が必要な場合の設備に要する費用（クリーンルーム等）も別途計上してください。
Q3. 塗膜除去工で発生した廃材の運搬費、処分費 A3. 含まれません。廃材の種類に応じた、適切な処分方法を選定してください。
Q4. 密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用 A4. 有機溶剤除去時の安全対策に要する費用（送風機、防毒マスク等）は含まれません。

出典：土木コスト情報/2024.10月

4.21.3 適用にあたっての留意点
(1) 積算上の留意点
1. 塗膜剥離剤による塗膜除去後の塗膜剥離剤材面下地処理は別途計上とする。
2. 事前にサンプリング採取による既設塗膜の有害物質含有量調査及び溶出量試験を行う場合は別途計上とする。
3. 有機溶剤系剥離剤を使用する場合は、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則に準じた対策及び火災防止対策（防爆型照明設備等）にかかる費用は別途計上とする。
4. 有害物質含有塗膜除去の場合、環境対策設備及び安全衛生保護具にかかる費用は別途計上とする。
5. 有害物質含有塗膜除去の場合、現場から指定保管場所までの運搬にかかる費用は別途計上とする。
6. 有害物質含有塗膜除去の場合、発生材処分は設計図書及び関係法令によるものとする。
7. 足場組立・解体、清掃・水洗い、現場塗装作業は別途計上とする。
8. ジンクリッチ塗料など塗膜剥離剤の種類によっては剥離出来ない塗膜があるので事前に確認すること。
9. 塗装面の塩分濃度測定、気中の鉛濃度測定、粉塵濃度測定を行う場合は別途計上する。

出典：橋梁架設工事の積算/令和6年度版_P4-158

作業日数、編成人員根拠

表4-21-2 剥離剤及び塗膜かす回収・積込工（塗膜剥離1回当たり）			
日当り施工量 (m ² /日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)
50	橋りょう塗装工	2	20
	普通作業員	1	
注) 1. 諸雑費は運搬・搬出の機械器具及び消耗材料、足場上で回収し足場外へ搬出するための缶・袋等の費用であり、労務費に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. PCB含有塗膜など、有害物質を含む塗膜を現場で保管するための保管用の大型缶、ドラム缶等が必要な場合は別途計上する。 3. 搬出のクレーンが必要な場合は別途計上する。 4. 日当り施工量は塗膜除去面積を示す。 5. 塗膜剥離回数分計上する。			

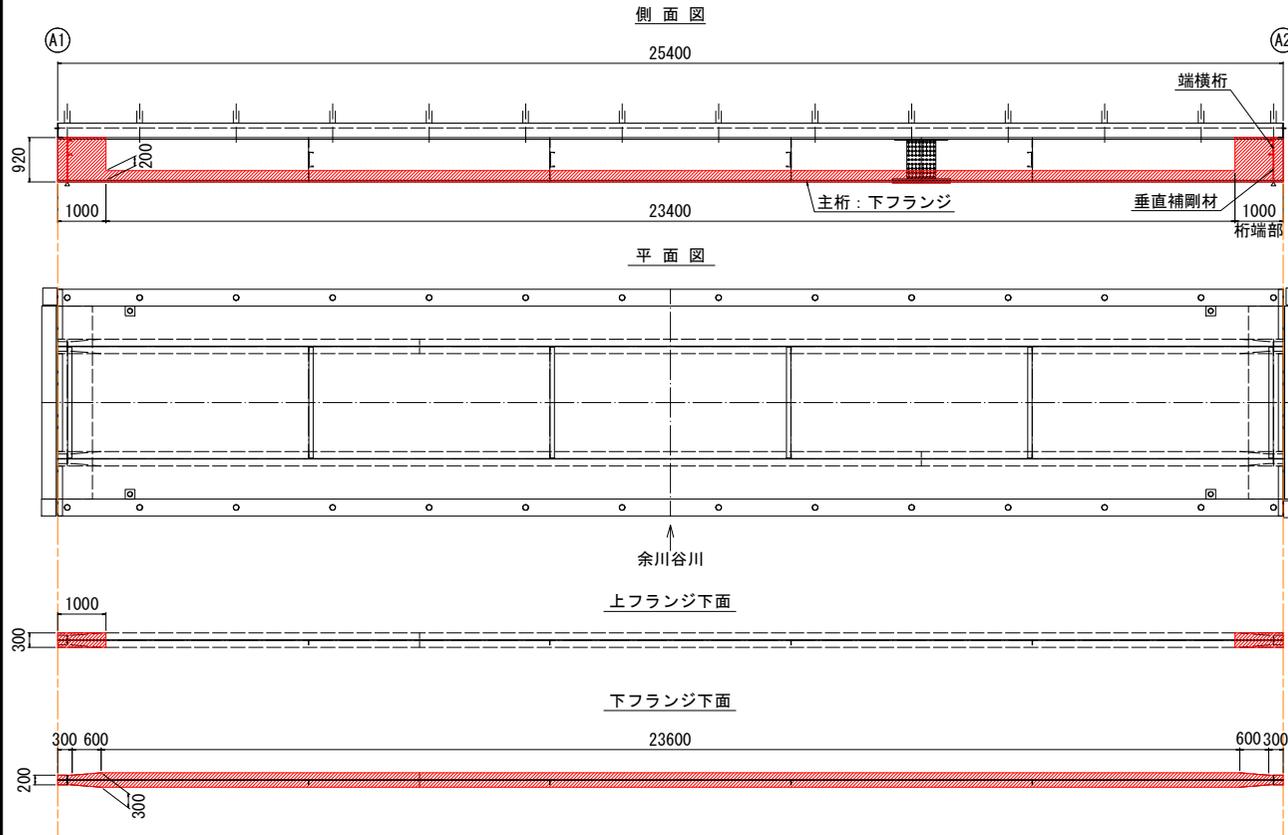
出典：橋梁架設工事の積算/令和6年度版_P4-162 湿式塗膜剥離剤工を準用

保護具数量根拠

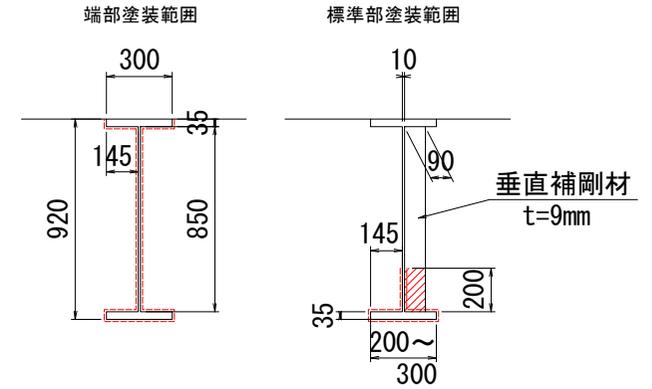
安全費積上げによる有害物質含有塗膜除去時に使用する安全衛生保護具費用の一例					供用期間：4ヶ月の場合		○：必要 ×：不要	
品名	単位	数量	単価	金額	備考	主要有害物質対応		
電動ファン付呼吸保護具	個	6	100,260	601,560	6人分記載の単価は購入単価	鉛	PCB	
呼吸用保護具用フィルター	個	2,112	2,280	4,815,360	1日4個使用/人 6人×4個×4ヶ月×22日=2,112個 記載の単価は購入単価	○	○	
使い捨て化学防護服	着	2,112	1,690	3,569,280	1日4着使用/人（タイプ4、5、6） 6人×4着×4ヶ月×22日=2,112個 記載の単価は購入単価	○	○	
防護手袋	組	2,112	540	1,140,480	1日4組使用/人 6人×4組×4ヶ月×22日=2,112個 記載の単価は購入単価	○	○	
シューズカバー	個	2,112	340	718,080	1日4個使用/人（タイプPB4、PB6） 6人×4個×4ヶ月×22日=2,112個 記載の単価は購入単価	○	○	
				計	10,844,760			
注) 1. 化学防護服のタイプは「化学防護服の分類 (JIS T 8115:2015)」により決定すること。								

出典：橋梁架設工事の積算/令和6年度版_P4-164

部分塗替塗装工 数量計算書 (主桁G1、G2)



フランジ断面

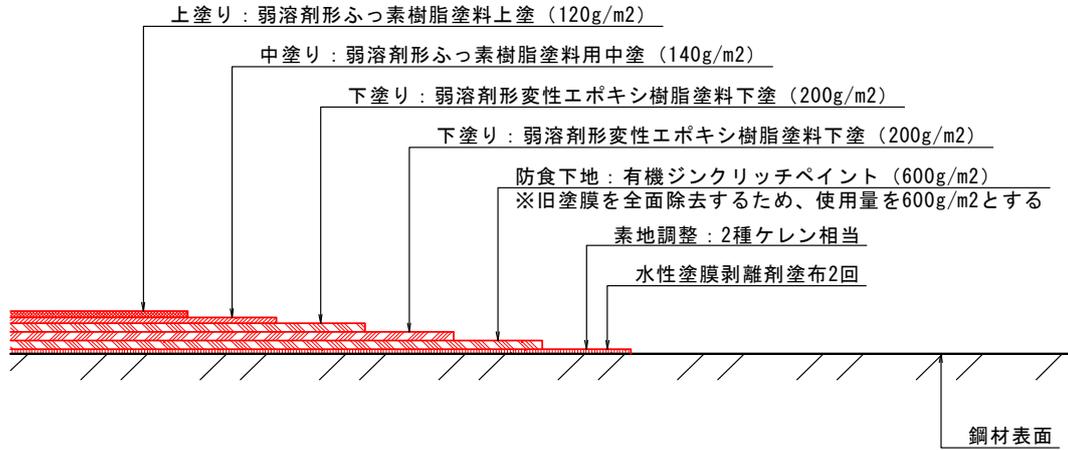


端横桁正面図



名称	規格	算式	単位	数量
Rc-II 塗装系	2種ケレン、赤系	上フランジ 下面・側面 (0.145+0.035)×2×1.0×4	m ²	1.44
		ウェブ端部 0.85×1.0×8	m ²	6.80
		下フランジ 上下面 {[0.2×0.3+1/2×(0.2+0.3)×0.6]×4+0.3×23.6+0.3×23.6-(0.01×25.4+0.09×0.009×8)+0.035×25.4×2}×2	m ²	33.04
		標準部ウェブ (0.2×23.4×2)×2	m ²	19.02
		標準部垂直補剛材 (0.09×0.2×2×4)×2	m ²	0.29
		端部垂直補剛材 (0.09×0.85×2×4)×2	m ²	1.22
			合計	123.62

(Rc-II 塗装系:フッ素樹脂塗料)



名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
素地調整	2種ケレン 塗膜剥離剤(別途計上)		m2	1.000
防食下地	有機ジンクリッチペイント 使用量:600g/m2		kg	0.600
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 使用量:200g/m2		kg	0.200
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 使用量:200g/m2		kg	0.200
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 使用量:140g/m2		kg	0.140
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 使用量:120g/m2		kg	0.120

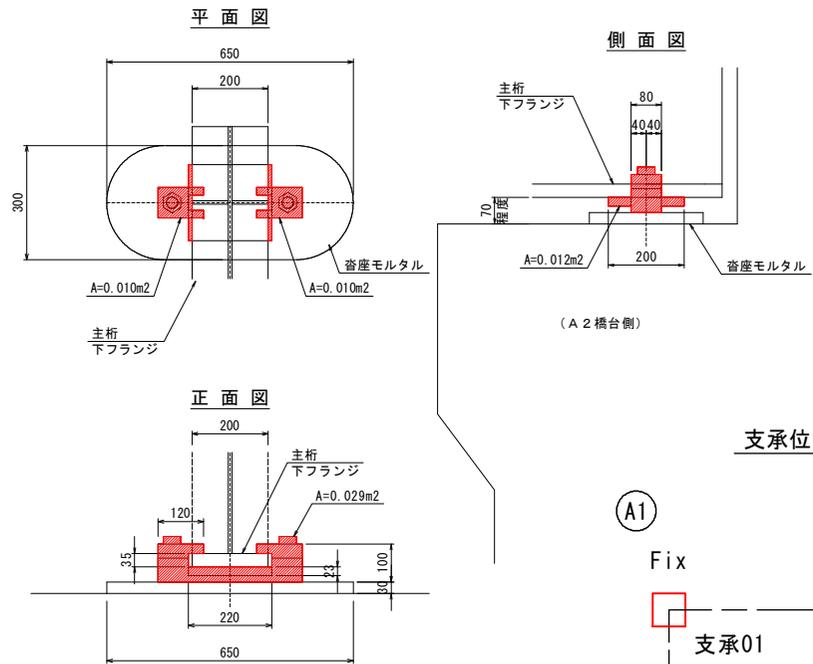
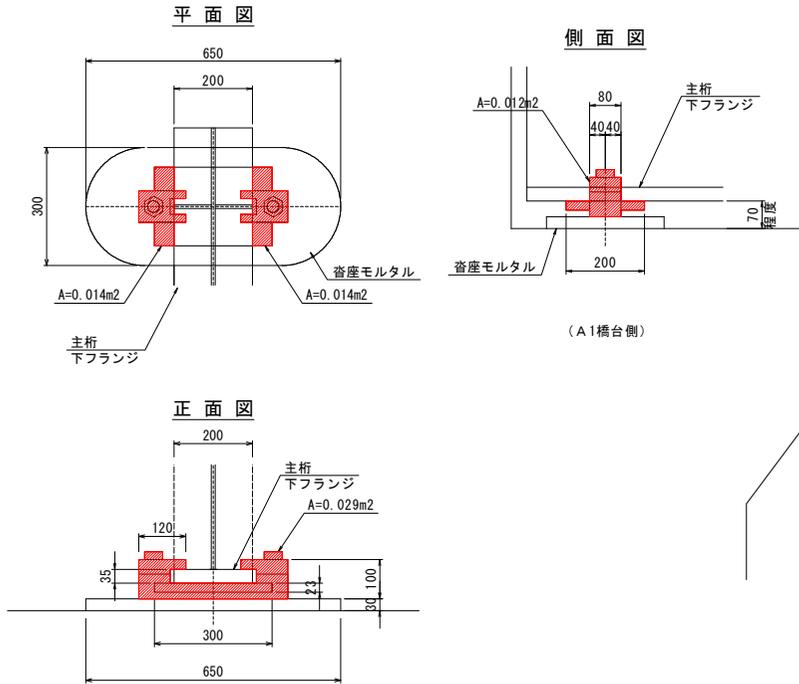
塗替塗装工 数量計算書 (支承)

【固定支承】

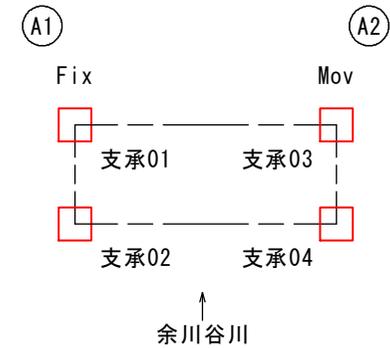
A1側：支承01, 02 N=2基

【可動支承】

A2側：支承03, 04 N=2基

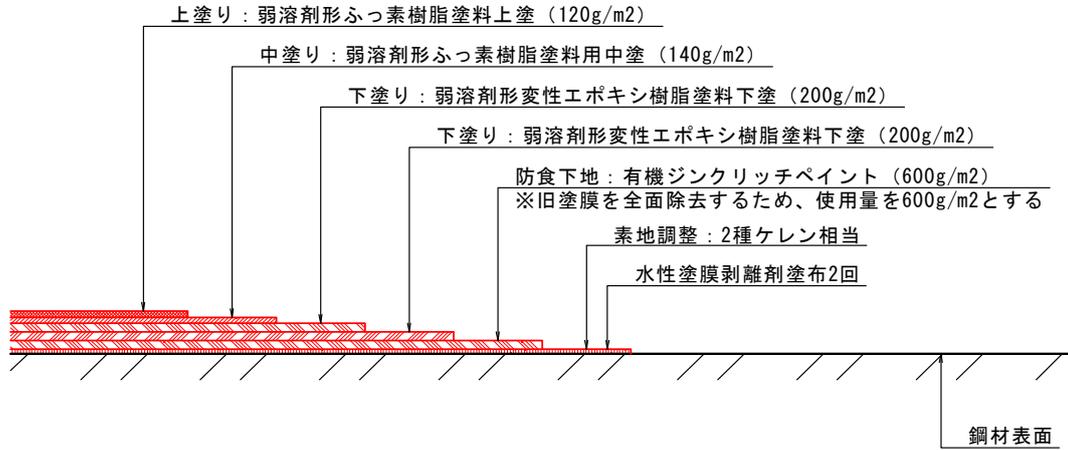


支承位置図



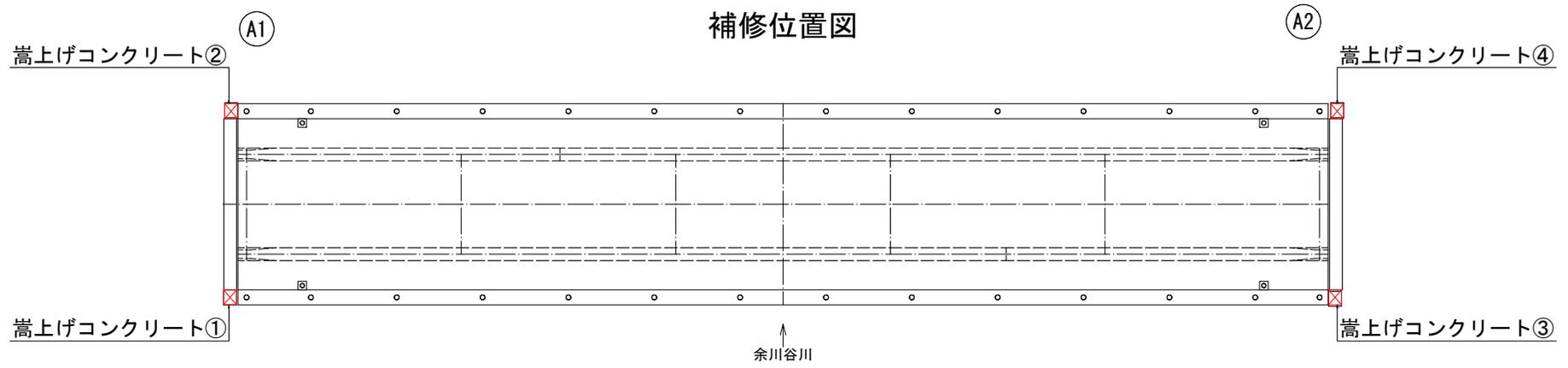
名称	規格	算式	単位	数量
Rc-II 塗装系	2種ケレン、赤系	A1 (固定) $(0.014+0.029+0.012) \times 2 \times 2$	m ²	0.22
	2種ケレン、赤系	A2 (可動) $(0.010+0.029+0.012) \times 2 \times 2$	m ²	0.20

(Rc-II 塗装系:フッ素樹脂塗料)



名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
素地調整	2種ケレン 塗膜剥離剤(別途計上)		m2	1.000
防食下地	有機ジンクリッチペイント 使用量:600g/m2		kg	0.600
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 使用量:200g/m2		kg	0.200
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 使用量:200g/m2		kg	0.200
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 使用量:140g/m2		kg	0.140
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 使用量:120g/m2		kg	0.120

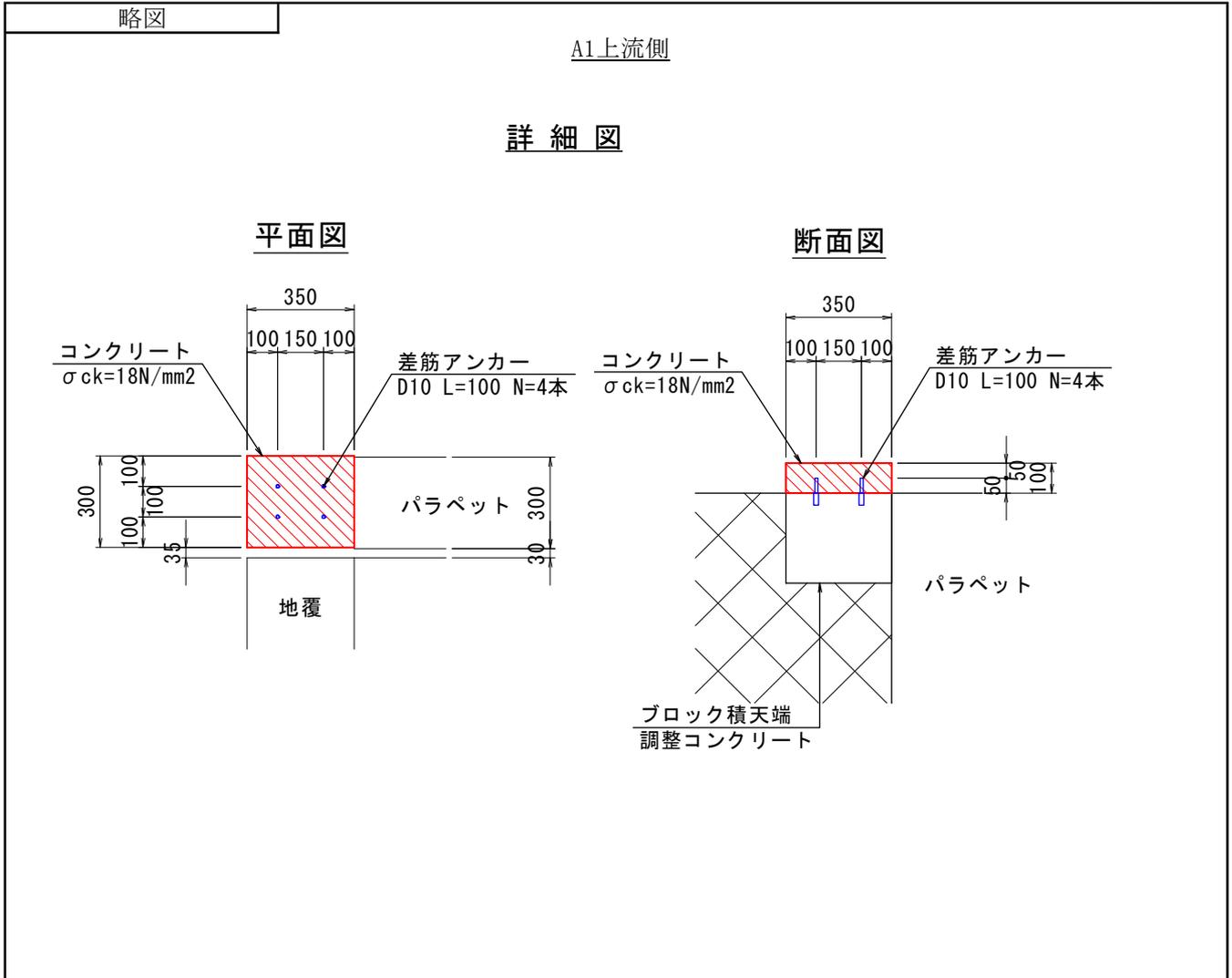
嵩上げコンクリート 数量計算書



名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
嵩上げ コンクリート①	A1上流側		箇所	1.0
嵩上げ コンクリート②	A1下流側		箇所	1.0
嵩上げ コンクリート③	A2上流側		箇所	1.0
嵩上げ コンクリート④	A2下流側		箇所	1.0

嵩上げコンクリート① 単位数計算書

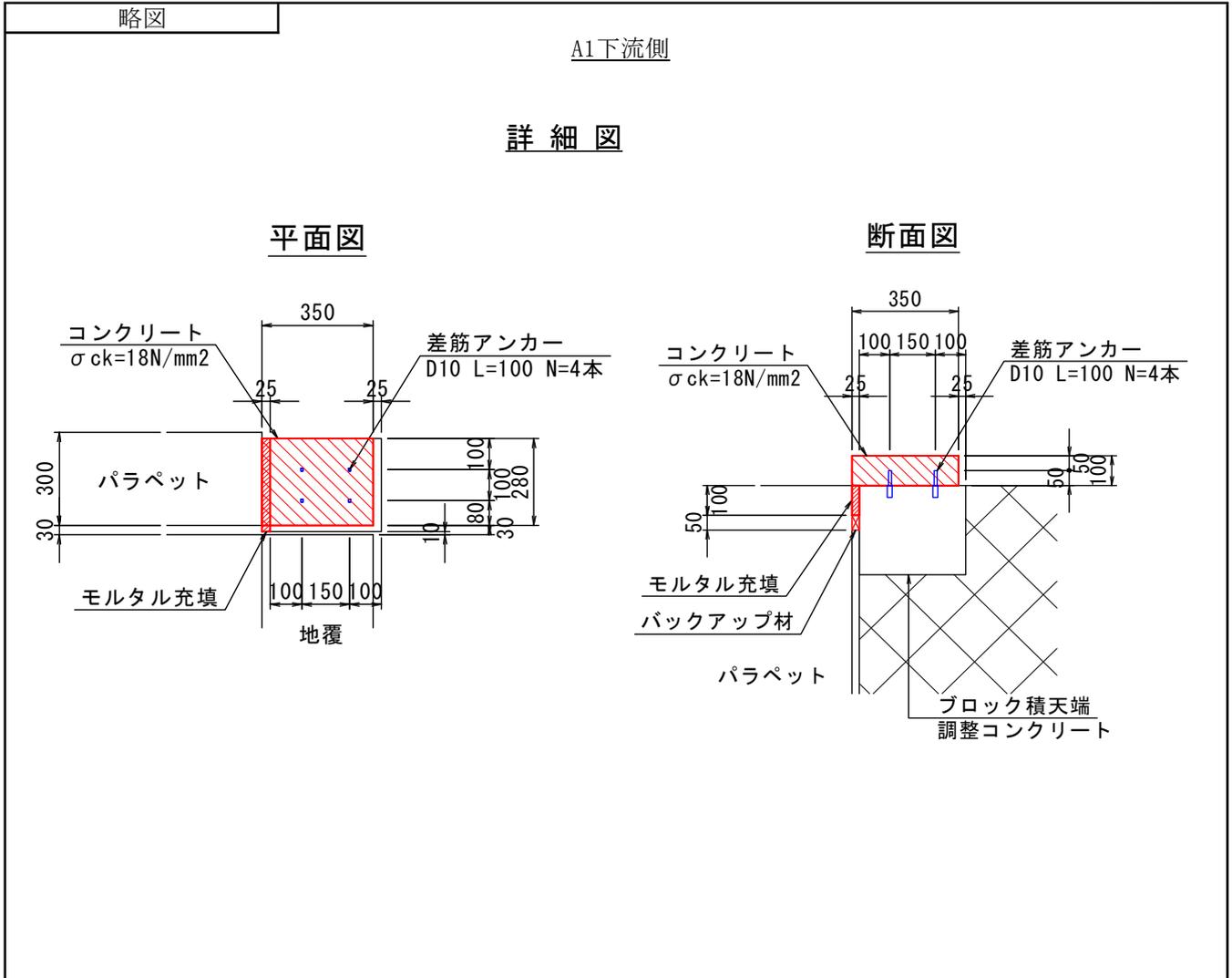
1箇所当り



材料/規格	算式	単位	数量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.35 \times 0.3 \times 0.1$	m ³	0.011
型枠 小型	$(0.35 + 0.30) \times 2 \times 0.1$	m ²	0.13
差筋アンカー D10 L=100		本	4
コンクリート削孔 $\phi 14.5$ L=50mm		孔	4

嵩上げコンクリート② 単位数計算書

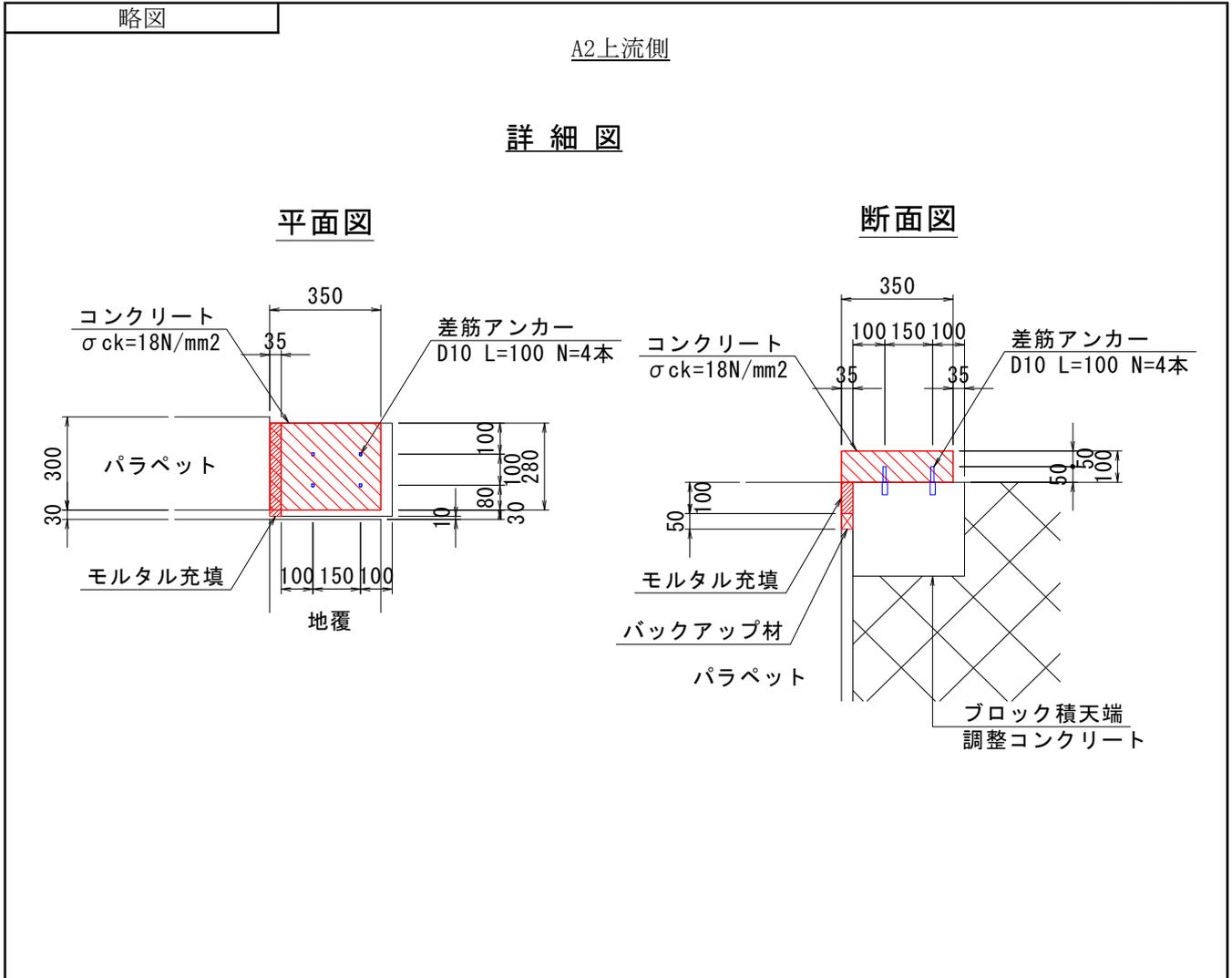
1箇所当り



材料/規格	算 式	単 位	数 量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.35 \times 0.28 \times 0.1$	m ³	0.010
モルタル	$0.30 \times 0.025 \times 0.1$	m ³	0.001
型枠 小型	$(0.35 + 0.28) \times 2 \times 0.1$	m ²	0.13
差筋アンカー D10 L=100		本	4
バックアップ材 ウレタンフォーム (t=25mm)	$0.3 \times 0.05 \times 0.025 \times 1000$	L	0.375
コンクリート削孔 $\phi 14.5$ L=50mm		孔	4

嵩上げコンクリート③ 単位数計算書

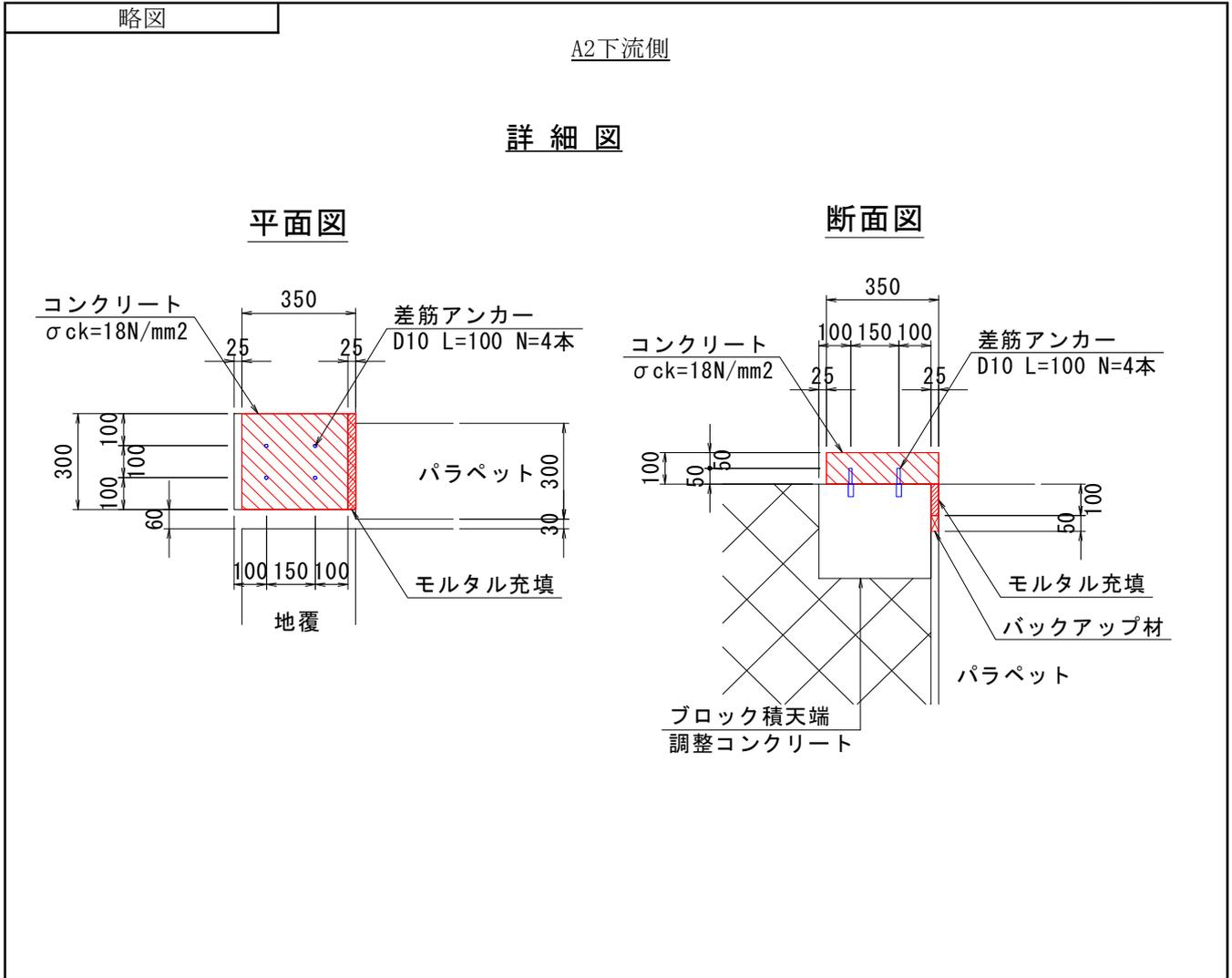
1箇所当り



材料/規格	算式	単位	数量
コンクリート σ ck=18N/mm2	0.35×0.28×0.1	m3	0.010
モルタル	0.30×0.035×0.1	m3	0.001
型枠 小型	(0.35+0.28)×2×0.1	m2	0.13
差筋アンカー D10 L=100		本	4
バックアップ材 ウレタンフォーム (t=35mm)	0.3×0.05×0.035×1000	L	0.525
コンクリート削孔 φ14.5 L=50mm		孔	4

嵩上げコンクリート④ 単位数計算書

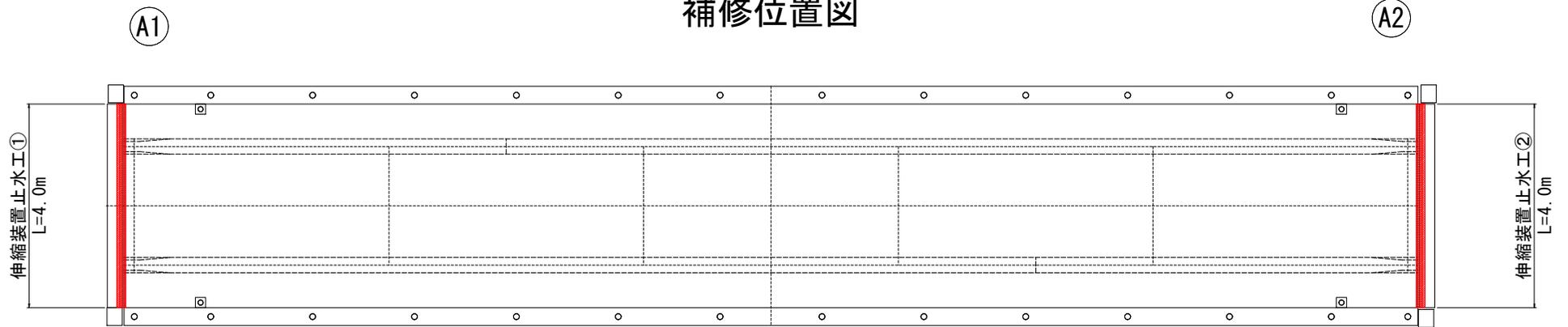
1箇所当り



材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリート σ ck=18N/mm2	0.35×0.3×0.1	m3	0.011
モルタル	0.30×0.025×0.1	m3	0.001
型枠 小型	(0.35+0.30)×2×0.1	m2	0.13
差筋アンカー D10 L=100		本	4
バックアップ材 ウレタンフォーム (t=25mm)	0.3×0.05×0.025×1000	L	0.375
コンクリート削孔 φ14.5 L=50mm		孔	4

伸縮装置止水工 数量計算書

補修位置図



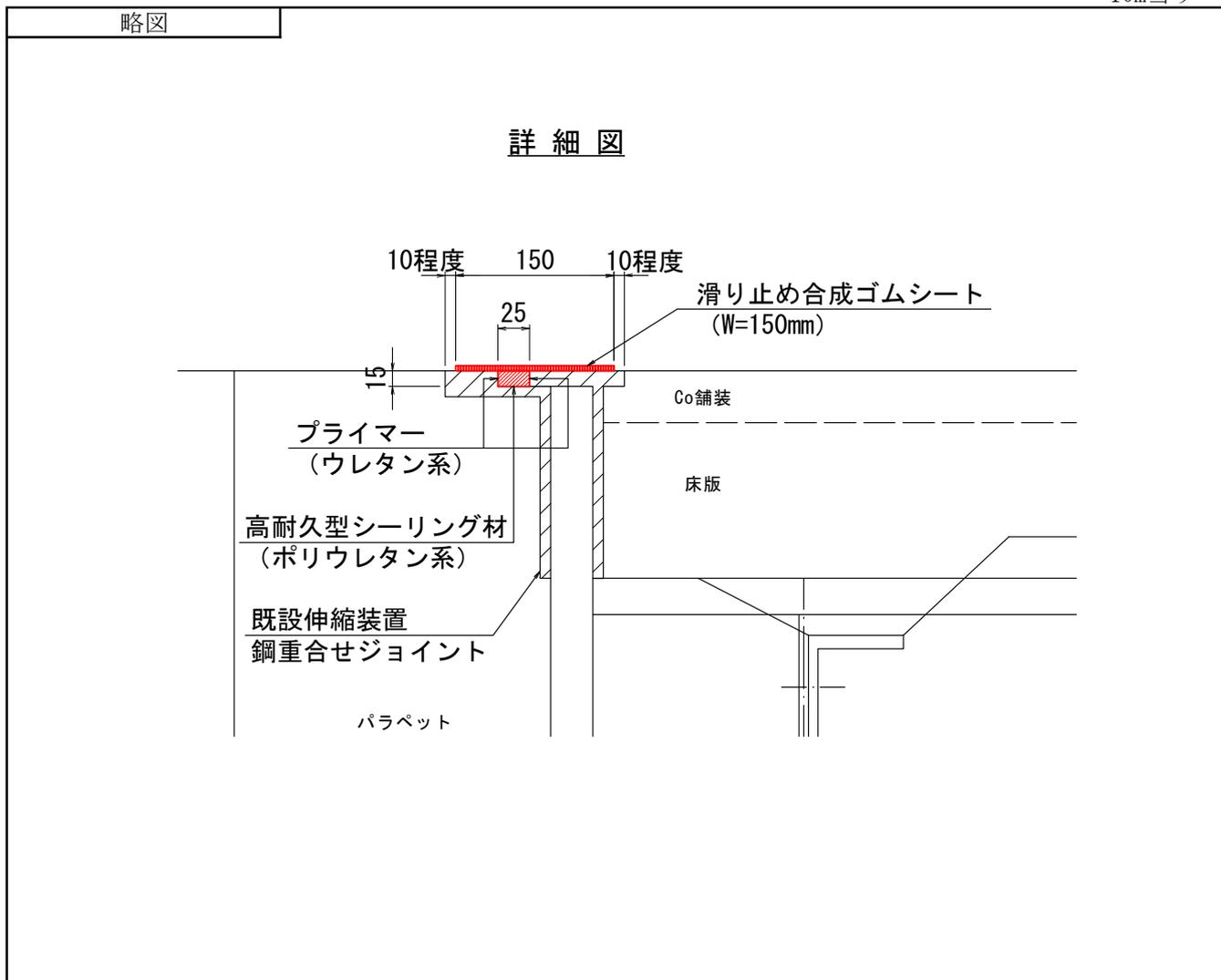
シーリング材充填幅

区分	位置	溝幅	平均幅
①	A1-上流側	25	25
	A1-下流側	25	
②	A1-上流側	30	25
	A2-下流側	20	

名称	規格	算式	単位	数量
伸縮装置止水工①	滑り止め合成ゴムシート 高耐久シーリング材W=150mm	A1側	m	4.0
伸縮装置止水工②	滑り止め合成ゴムシート 高耐久シーリング材W=150mm	A2側	m	4.0

伸縮装置止水工 単位数計算書

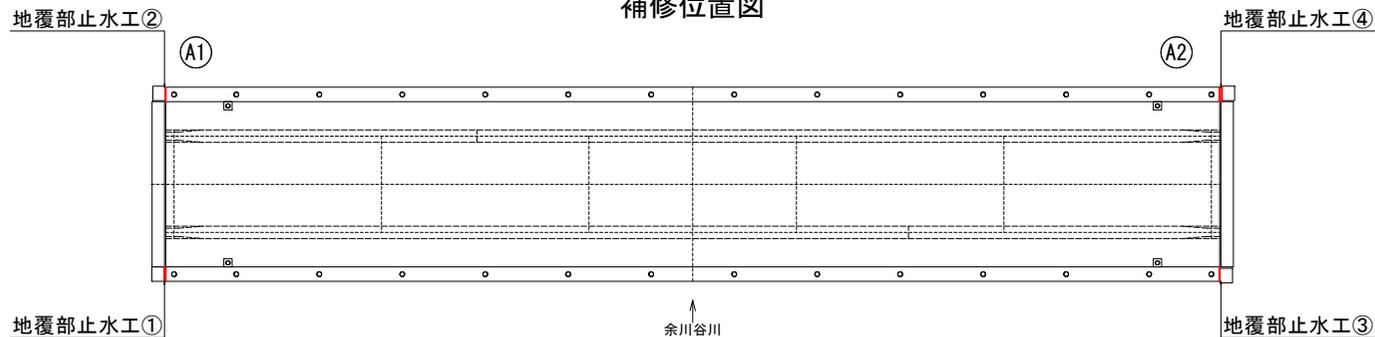
10m当り



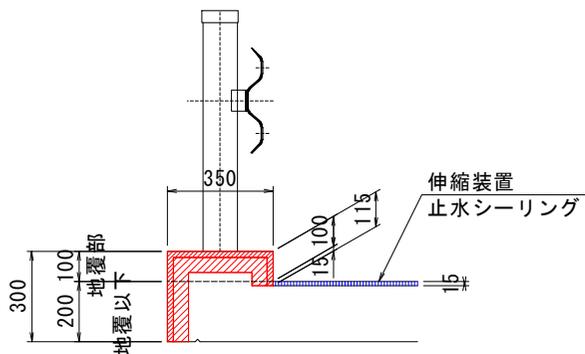
材料／規格	算 式	単 位	数 量
滑り止め合成ゴムシート W=150mm		m	10.0
高耐久型シーリング材 ポリウレタン系	(ロス率20%) W=25mm t=15mm $0.025 \times 0.015 \times 10.0 \times 1000 \times 1.2$	ℓ	4.50
プライマー ウレタン系	(ロス率20%) 使用量0.15kg/m ² $0.015 \times 2 \times 10 \times 0.15 \times (1+0.2)$	kg	0.054

地覆部止水工 数量計算書

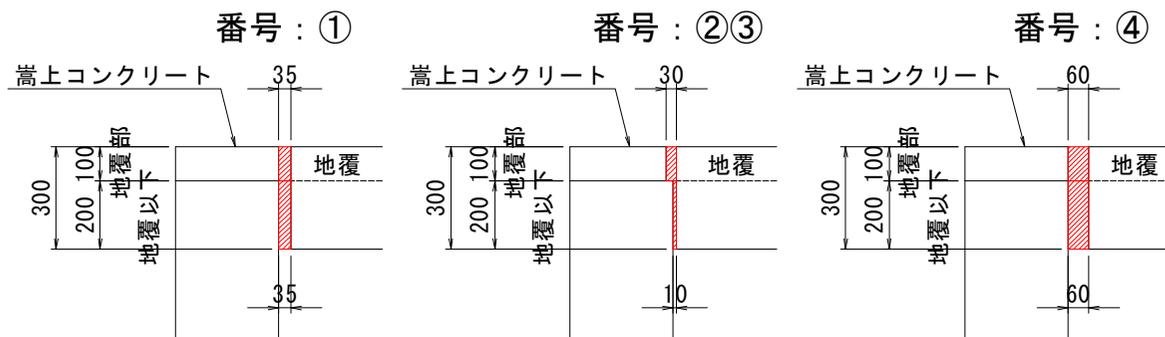
補修位置図



断面図

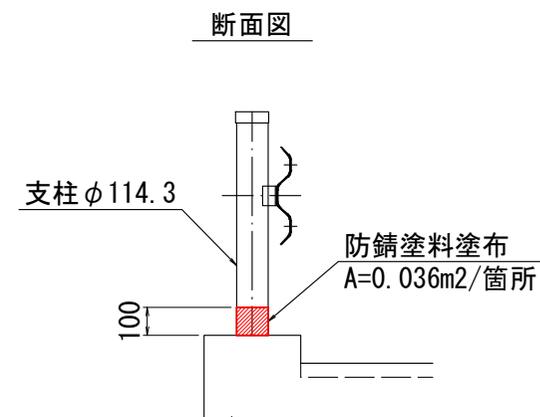
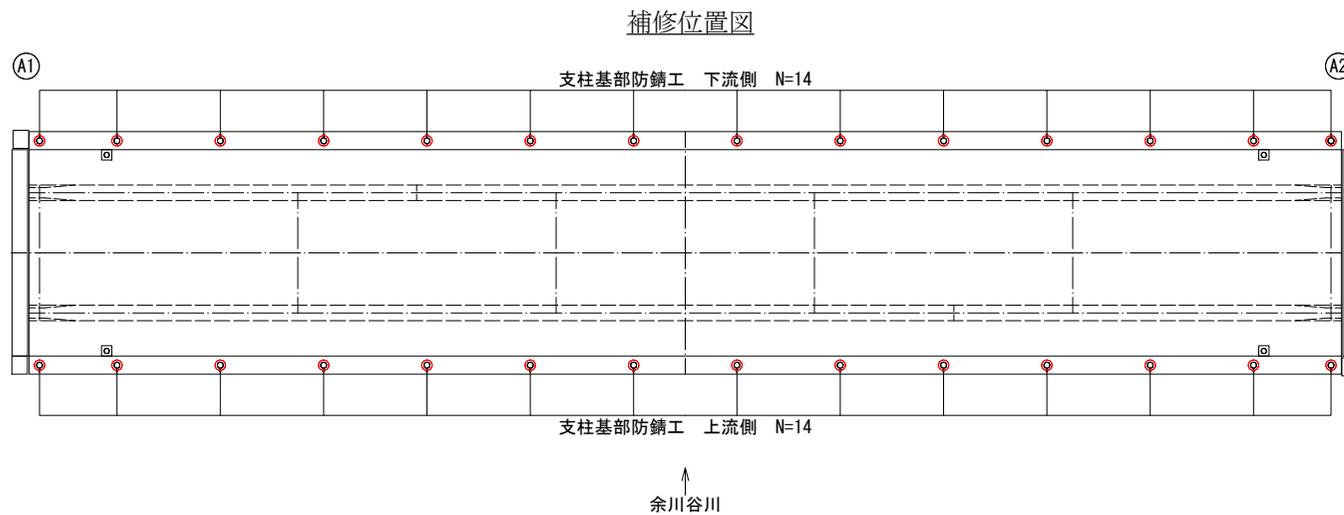
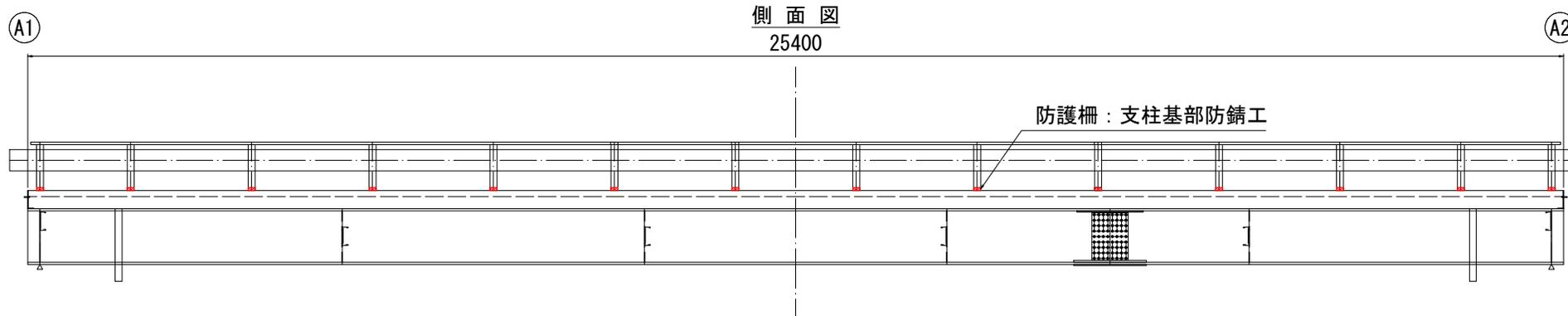


側面図 (外側)



名称	規格	算式	単位	数量
地覆部止水工①				
A1側上流側 地覆部	弾性シール材 W35×H15	$0.10+0.35+0.10$	m	0.55
地覆部止水工①				
A1側上流側 地覆以下	弾性シール材 W35×H15	$0.20+0.015$	m	0.22
地覆部止水工②				
A1側上流側 地覆部	弾性シール材 W30×H15	$0.10+0.35+0.10$	m	0.55
地覆部止水工②				
A1側上流側 地覆以下	弾性シール材 W10×H10	$0.20+0.015$	m	0.22
地覆部止水工③				
A1側上流側 地覆部	弾性シール材 W30×H15	$0.10+0.35+0.10$	m	0.55
地覆部止水工③				
A1側上流側 地覆以下	弾性シール材 W10×H10	$0.10+0.35+0.10$	m	0.22
地覆部止水工④				
A1側上流側 地覆部	弾性シール材 W60×H20	$0.10+0.35+0.10$	m	0.55
地覆部止水工④				
A1側上流側 地覆以下	弾性シール材 W60×H20	$0.20+0.015$	m	0.22

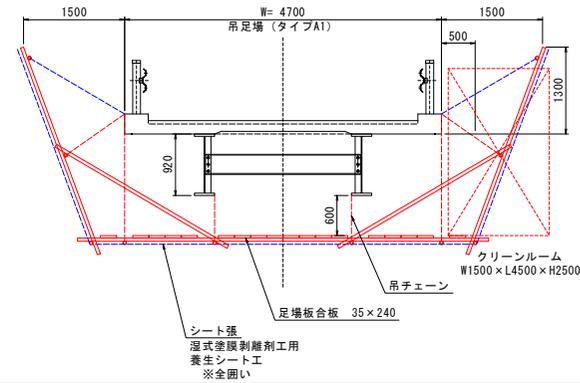
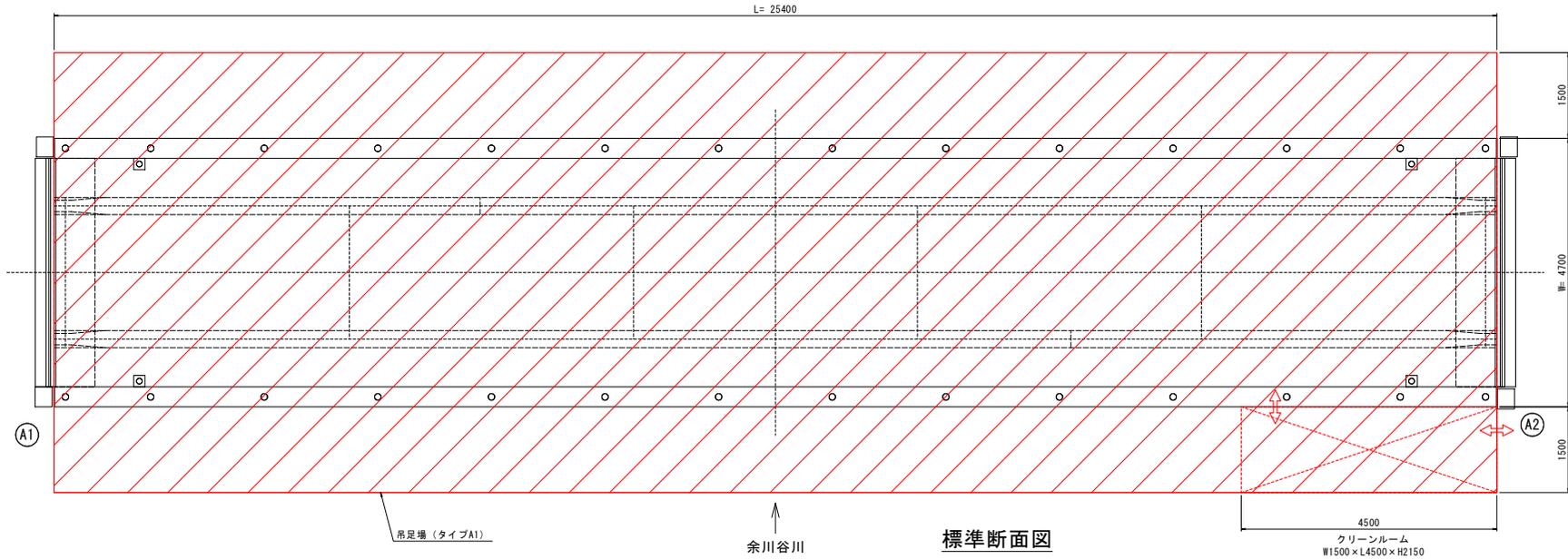
支柱基部防錆工 数量集計表



名称	規格	算式	単位	数量
塗布型防錆剤	水性錆転換塗料	上図より N=14+14=28 0.036×28	m ²	1.01

足場工 数量計算書

平面図

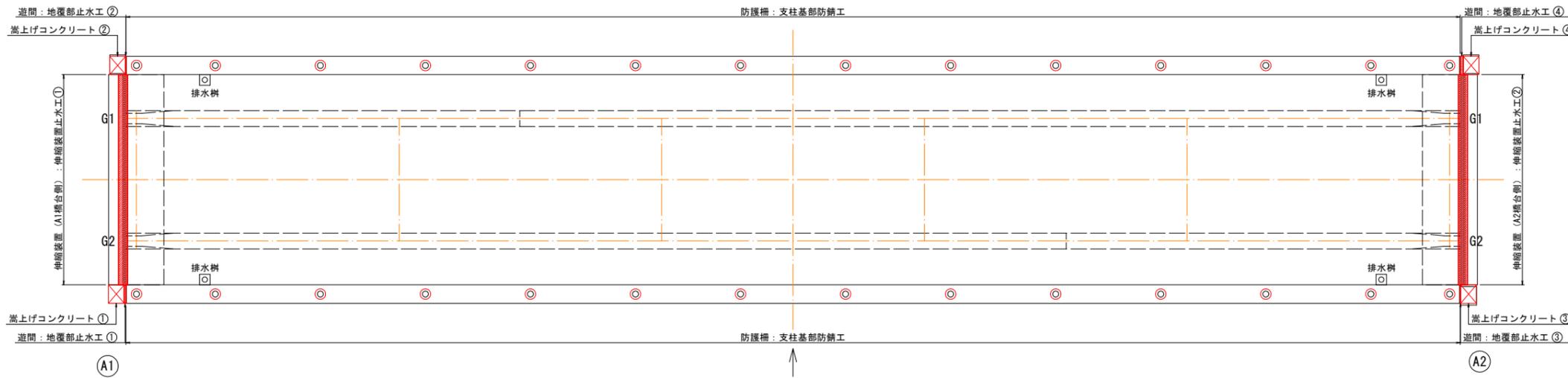


名称	規格	算式	単位	数量
吊足場	シート防護	4.70×25.40	m2	119.4
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工		4.70×25.40	m2	119.4

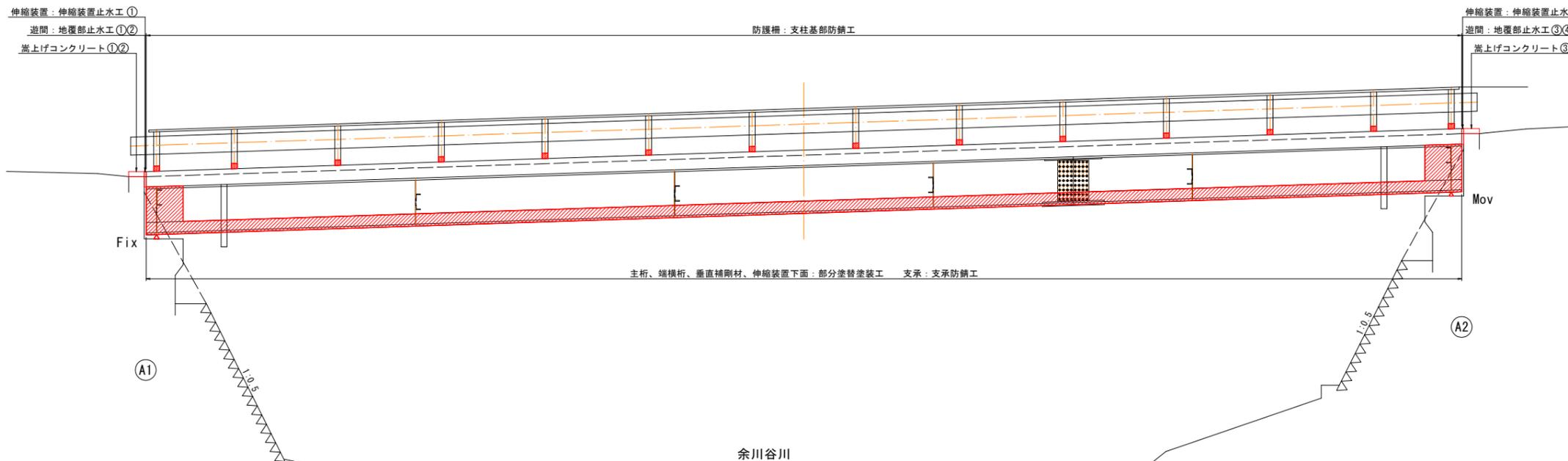
補修一般図

第一号余川橋 S=1:50

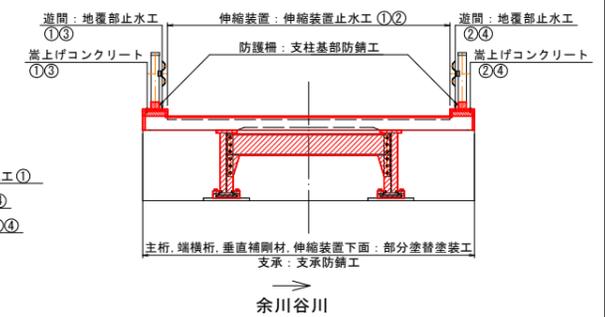
平面図



側面図



標準断面図



▽ 施工期間内最大水位

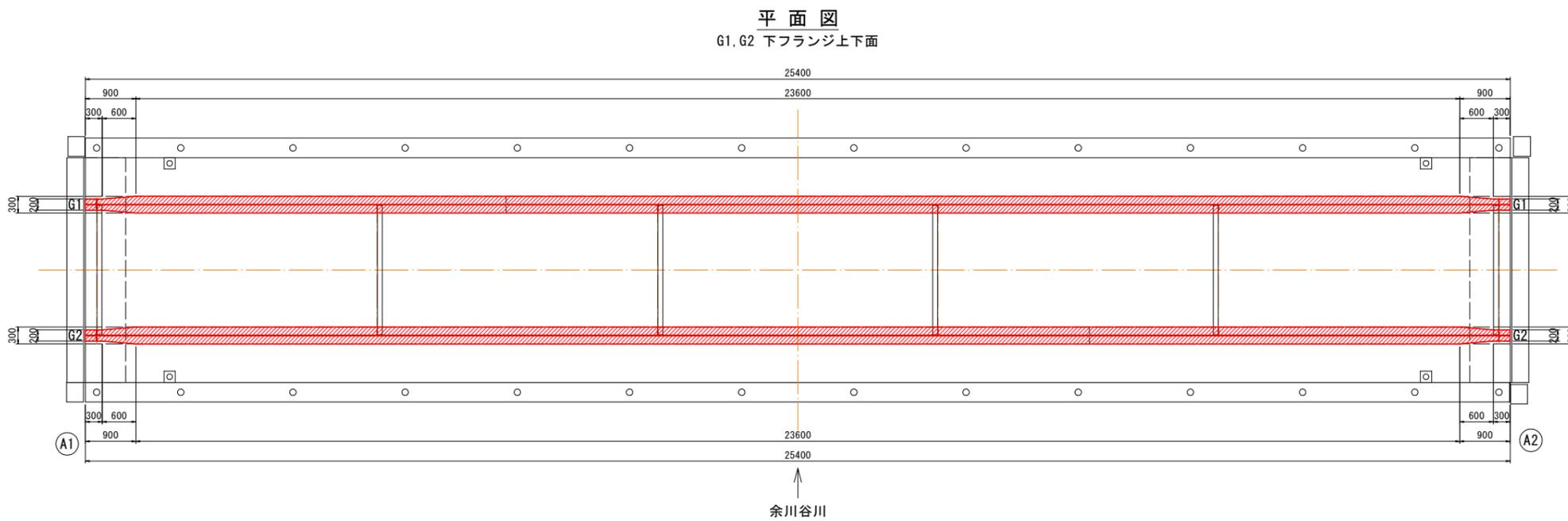
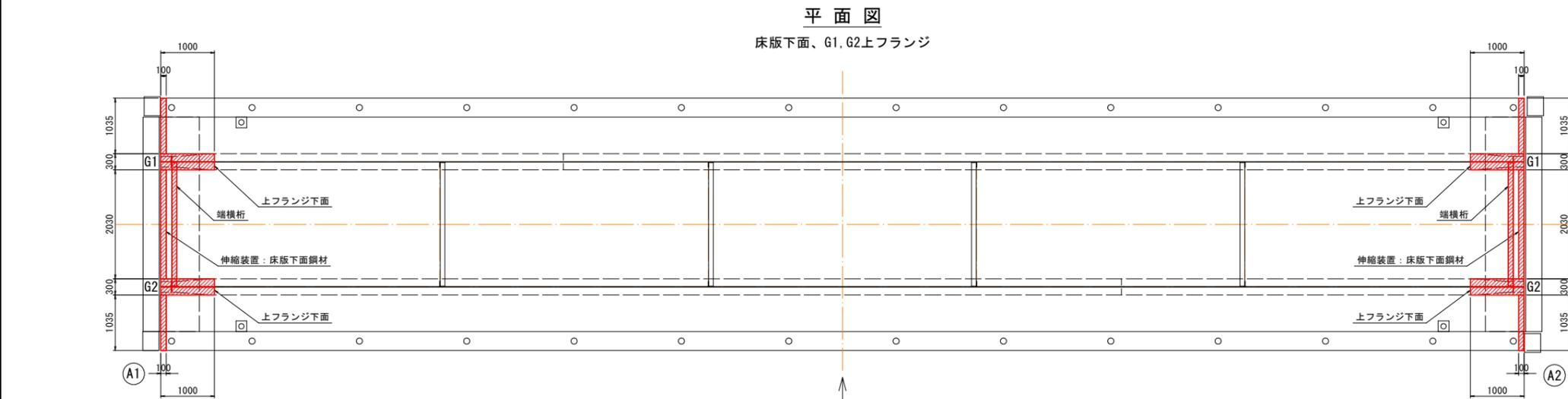
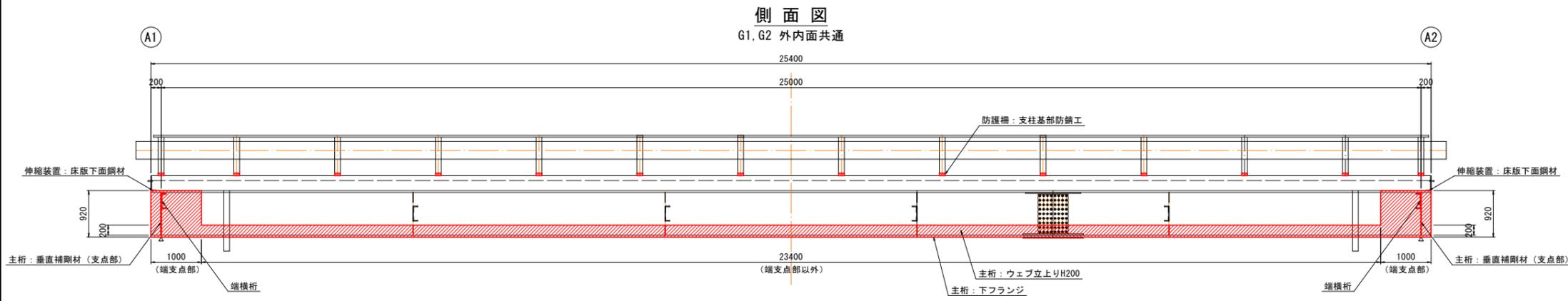
▽ 平常時水位

第一号余川橋

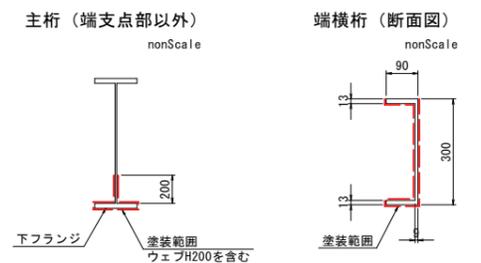
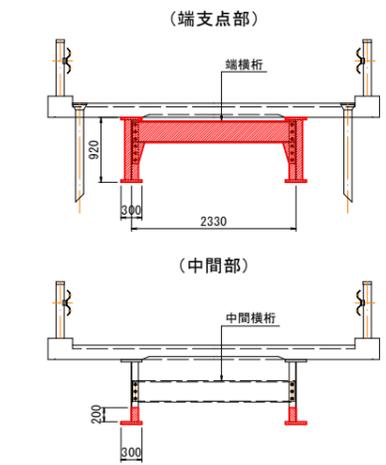
路線名	林道余川線		
第一号余川橋橋梁補修工事			
図名	補修一般図		
位置	東伯郡 三朝町 六鴨		
縮尺	1:50	単位	MM
図号	全 5 葉中の内 1		
平成 7 年度施行			
三朝町 建設水道課			

上部工補修図 (1/3)

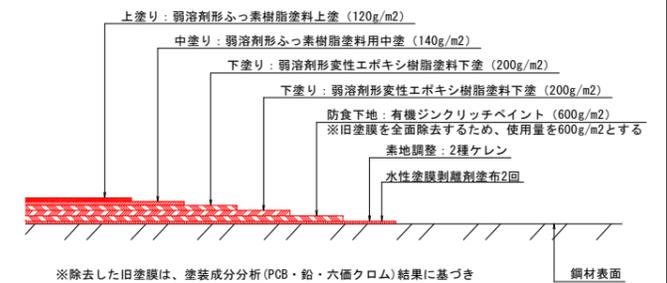
第一号余川橋 S=1:50



塗替塗装範囲



部分塗替塗装工 (Rc-II 塗装系)



※除去した旧塗膜は、塗装成分分析 (Pb・鉛・六価クロム) 結果に基づき適切に処分すること。
 ※素地調整は湿式工法 (塗膜剥離剤塗布) とし、剥離剤で除去できない錆箇所は、吸塵式ディスクサンダー等の電動工具と手工具を併用し、粉じん対策を考慮しながら行う。(2種ケレン相当)
 ※施工中は、ホコリの付着による施工不良を懸念し、養生を行うこと。
 ※ホコリが出る工程を並行して行わないこと。
 ※施工に際しては、湿・湿度管理に準拠すること。
 ※使用前の塗料はよく攪拌すること。
 ※現況塗装に適した塗膜剥離剤を選定するため、施工前に塗膜剥離剤選定試験を行うこと。
 ※塗膜剥離剤塗布回数は剥離状況により調整すること。

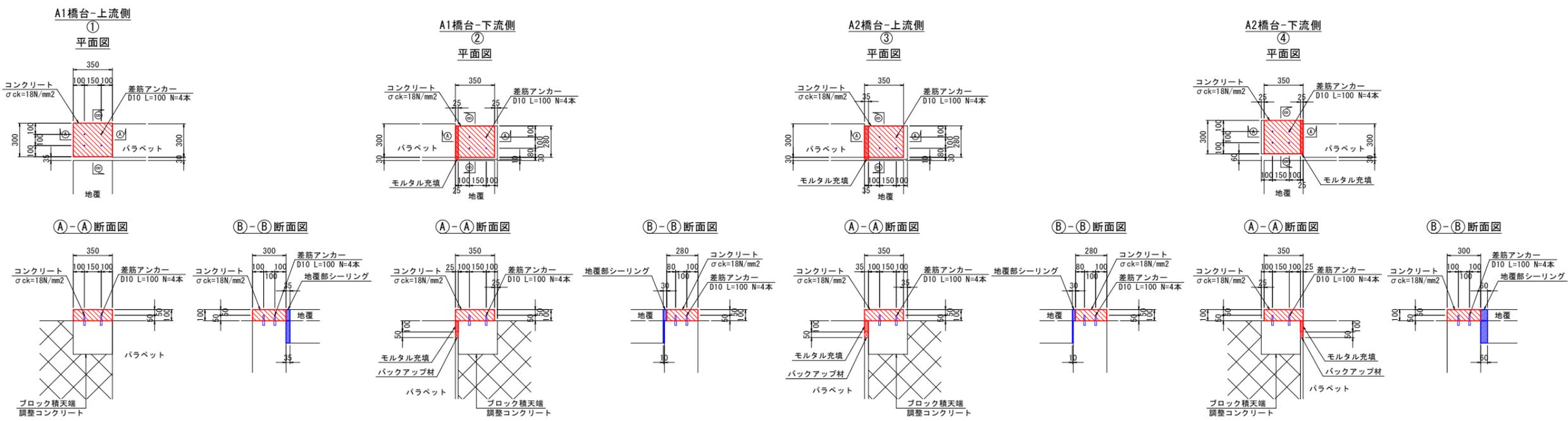
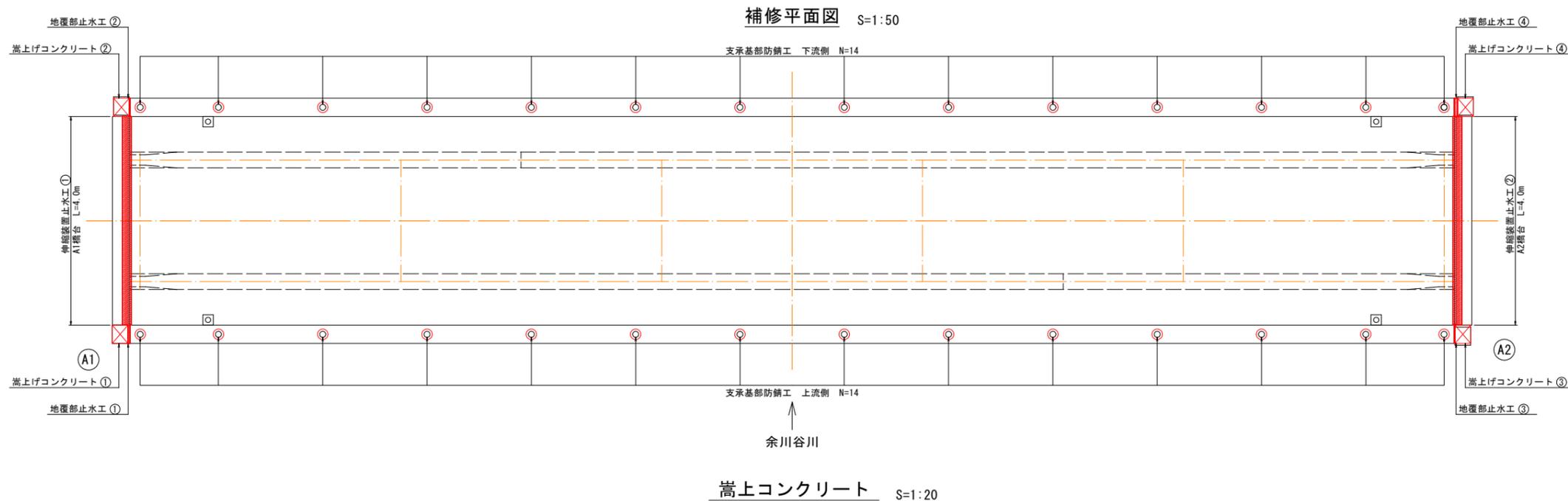
第一号余川橋

路線名	林道余川線
第一号余川橋橋梁補修工事	
図名	上部工補修図 (1/3)
位置	東伯郡 三朝町 六鴨
縮尺	1:50 単位 MM
図号	全 5 葉中の内 2
平成 7 年度施行	
三朝町 建設水道課	

表示	種別
	部分塗替塗装工

上部工補修図 (2/3)

第一号余川橋



嵩上コンクリート 材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	嵩上げコンクリート 番号			
			①	②	③	④
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.011	0.010	0.010	0.011
型枠	小型	m ²	0.13	0.13	0.13	0.13
モルタル		m ³	-	0.001	0.001	0.001
バックアップ材	ウレタンフォーム	%	-	0.375	0.525	0.375
差筋アンカー	D10 L=100	本	4	4	4	4
コンクリート削孔	$\phi 14.5$ L=50	孔	4	4	4	4
打継用接着剤	塗布量: 1.2kg/m ²	kg	0.126	0.118	0.118	0.126

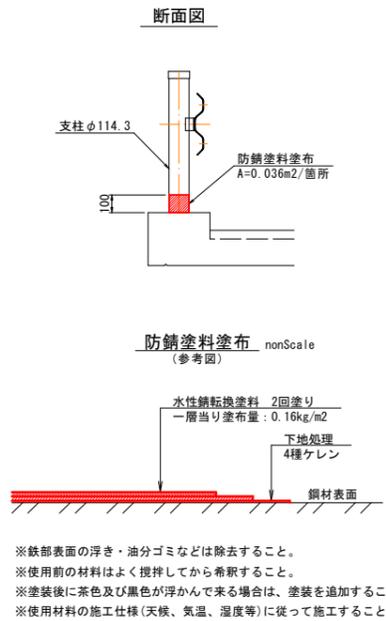
第一号余川橋

路線名	林道余川線
第一号余川橋橋梁補修工事	
図名	上部工補修図 (2/3)
位置	東伯郡 三朝町 六鴨
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 5 葉中の内 3
平成 7 年度施行	
三朝町 建設水道課	

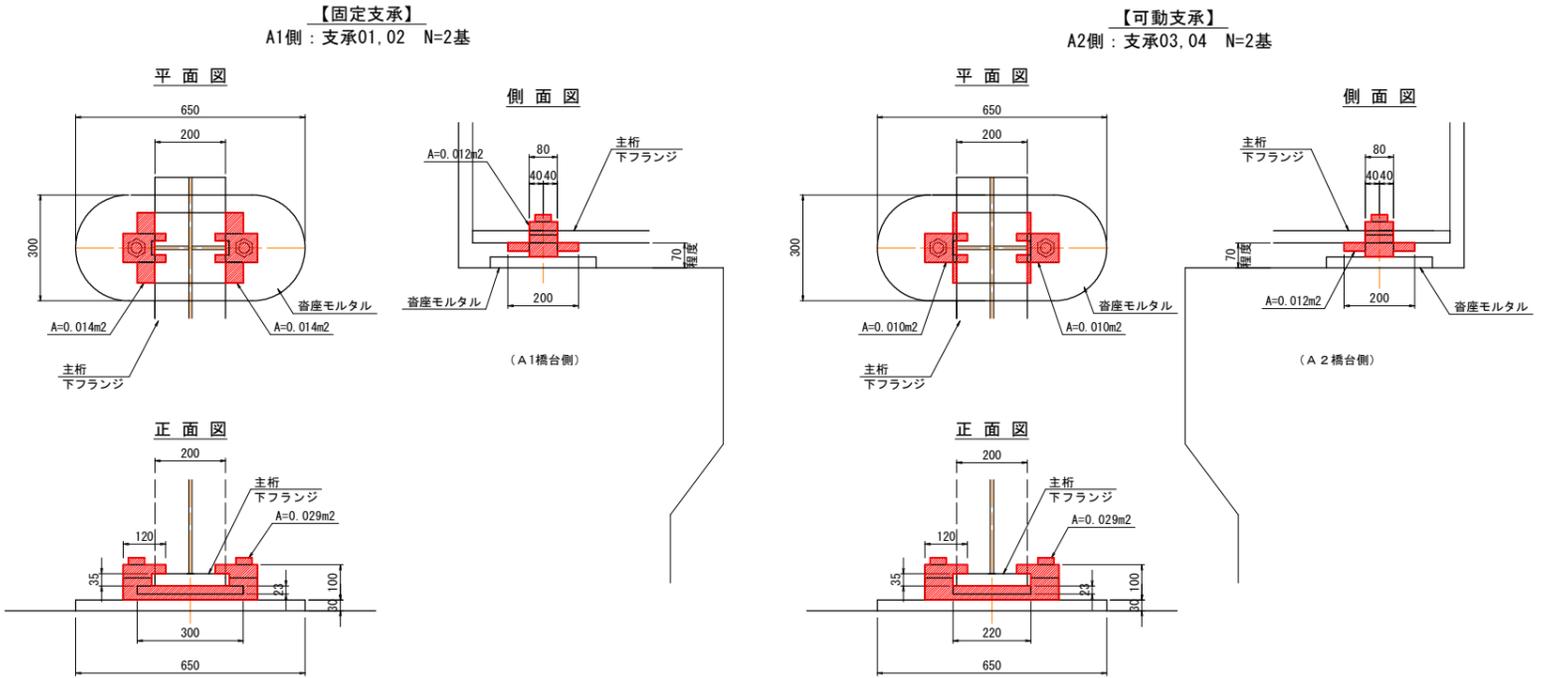
上部工補修図 (3/3)

第一号余川橋

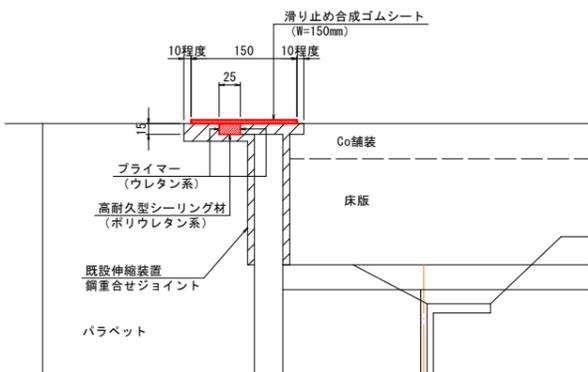
支柱基部防錆工 S=1:20
N=14 (上流側) + 14 (下流側) = 28箇所



支承防錆工
S=1:10



伸縮装置止水工 S=1:5
①: L=4.0m (A1橋台)
②: L=4.0m (A2橋台)



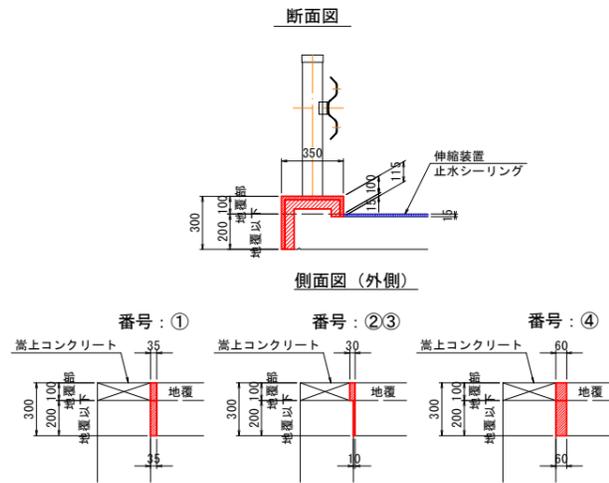
シーリング材充填幅

番号	位置	溝幅	平均幅
①	A1上流側	25	25
	A1下流側	25	
②	A2上流側	30	25
	A2下流側	20	

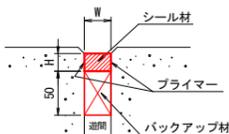
伸縮装置止水工 材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
高耐久型シーリング材	ポリウレタン系	kg	4.50
プライマー	ウレタン系	kg	0.054
滑り止め合成ゴムシート	W=150mm	m	10.0

地覆部止水工 S=1:20



シーリング材断面図 nonScale



シーリング材寸法: 地覆部

番号	位置	幅(W)	厚さ(H)
①	A1上流側	35	15
②	A1下流側	30	15
③	A2上流側	30	15
④	A2下流側	60	20

シーリング材寸法: 地覆以下

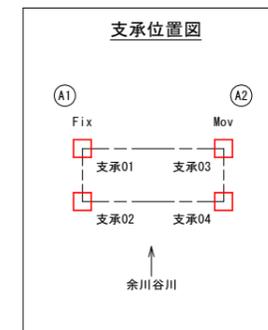
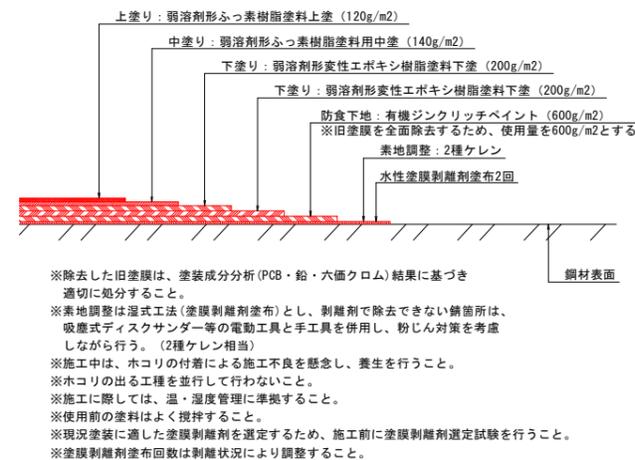
番号	位置	幅(W)	厚さ(H)
①	A1上流側	35	15
②	A1下流側	10	10
③	A2上流側	10	10
④	A2下流側	60	20

地覆部止水工 材料表 100m当り

名称	規格	単位	地覆部止水工 番号							
			①	②	③	④				
シーリング材	シリコン系 弾性シーリング材	kg	63	63	54	12	54	12	144	144
バックアップ材	ウレタンフォーム	kg	175	175	150	50	150	50	300	300

表示	種別
	支承防錆工 (部分塗替塗装工)

支承防錆工 (部分塗替塗装工) nonScale
(Rc-II 塗装系)



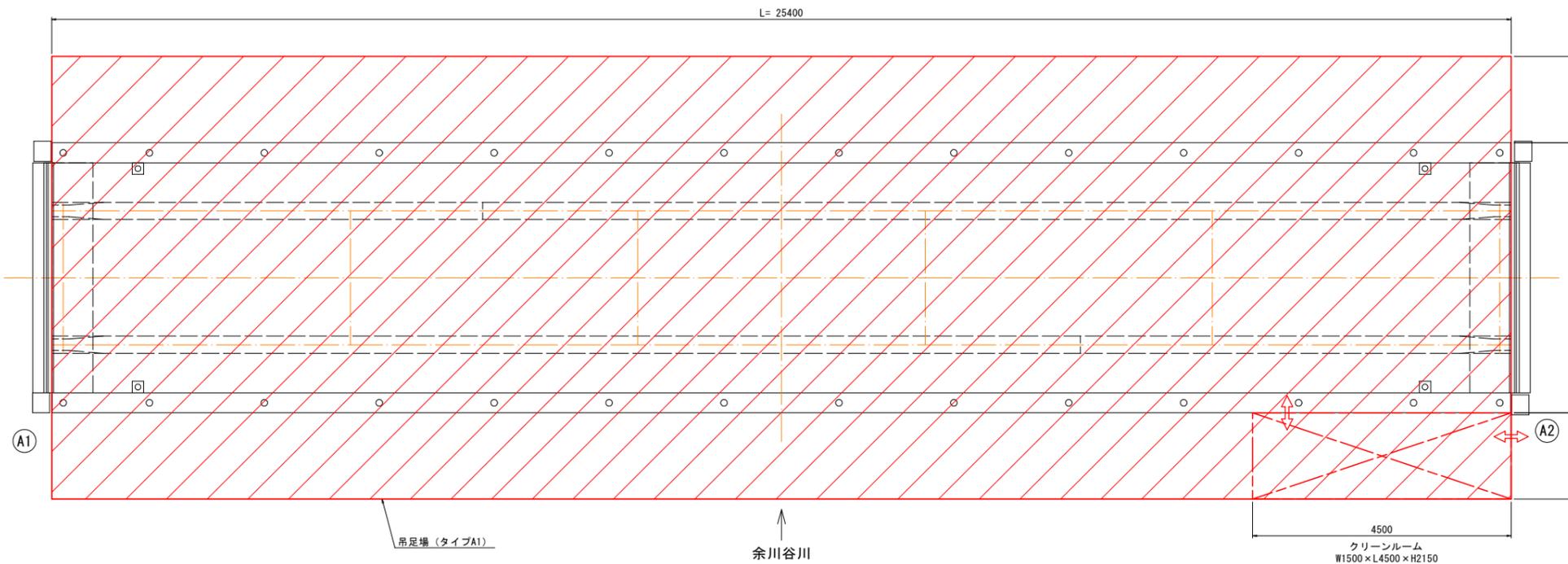
第一号余川橋

路線名	林道余川線
第一号余川橋梁補修工事	
図名	上部工補修図 (3/3)
位置	東伯郡 三朝町 六鴨
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 5 葉中の内 4
平成 7 年度施行	
三朝町 建設水道課	

足場仮設図 (参考図)

S=1:50

平面図

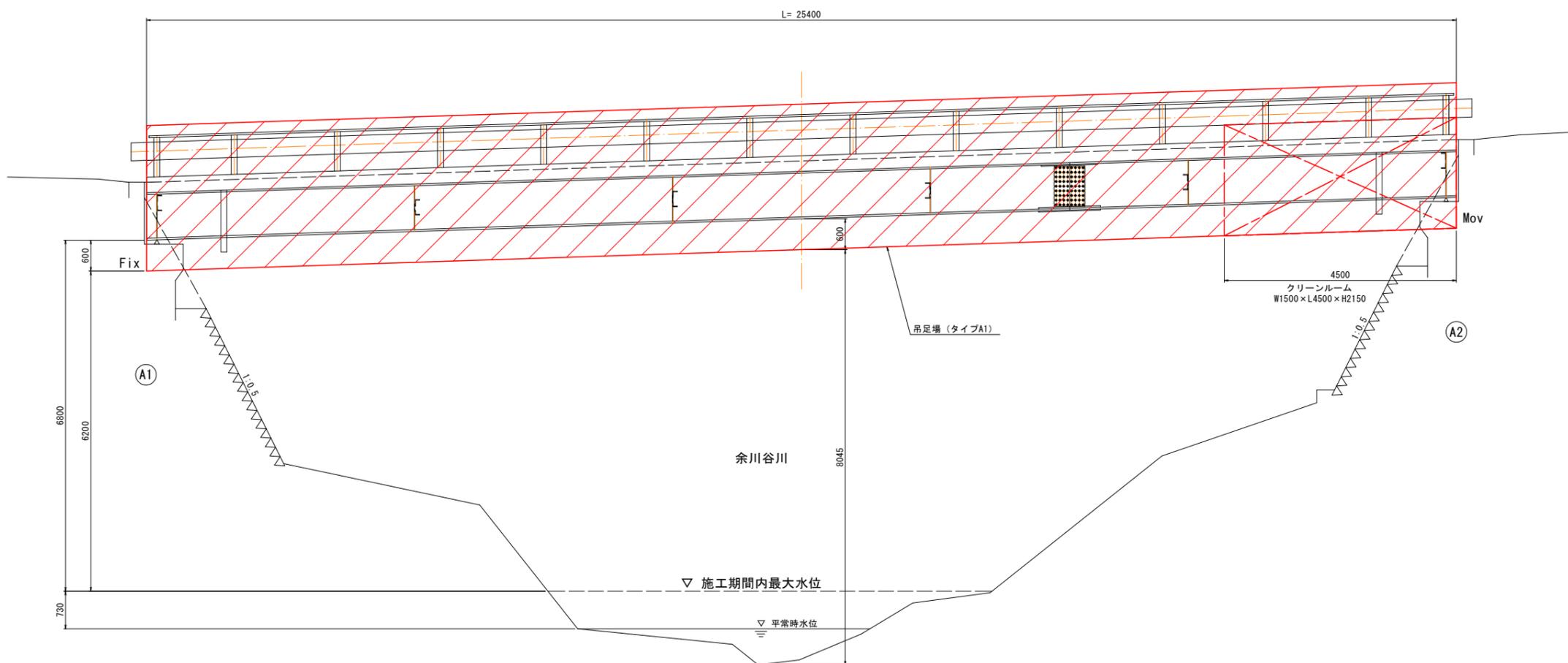


凡例		
表示	種別	数量
	吊足場	119.4m ²
	クリーンルーム (足場内設置)	
足場数量		119.4m ²

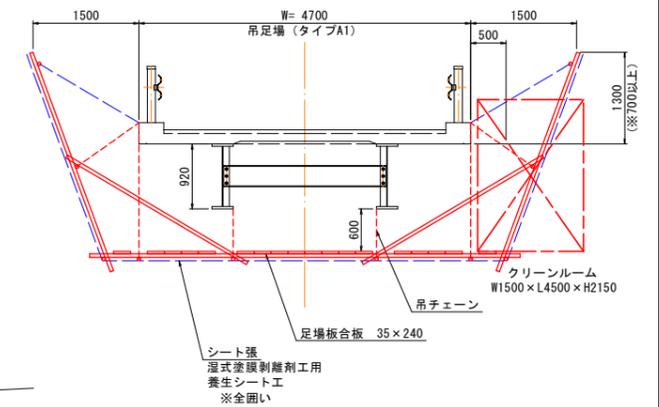
※河川内占用面積

$$A = (4.7 + 1.5 \times 2) \times 25.40 = 196\text{m}^2$$

側面図



標準断面図



第一号余川橋

路線名	林道余川線		
第一余川橋橋梁補修工事			
図名	足場仮設図 (参考図)		
位置	東伯郡 三朝町 六鴨		
縮尺	1:50	単位	MM
図号	全 5 葉中の内 5		
平成 7 年度施行			
三朝町 建設水道課			